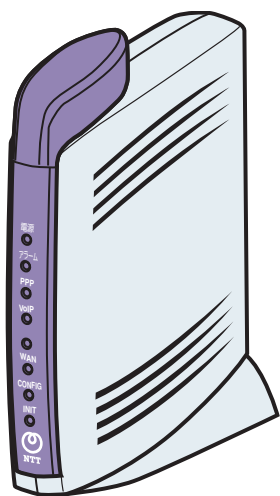




WBC V110M

詳細取扱説明書

Ver. 2.2



第1章 こんなときにはこの設定にする

第2章 本商品の設定画面

第3章 付録

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

目次

マニュアルの見かた	3
本商品へのログイン方法	4

1 こんなときにはこの設定にする

インターネットに関する設定	1-1
PPPoE 接続 (マルチセッション) を用いて フレッツ・スクウェアへ接続するには	1-1
ドメインごとに問い合わせ先の DNS サーバを振り分けるには (DNS リレー機能)	1-6
複数の固定 IP アドレスサービスを利用 するには (unnumbered 接続)	1-11
パソコンのアドレスを固定にするには (DHCP サーバ機能)	1-16
NAPT 機能 (IP マスカレード)	1-23
音声・ビデオチャットを使用するには (UPnP 機能)	1-26
外部にサーバを公開するには (簡易 DMZ 機能)	1-32
外部にサーバを公開するには (静的 NAPT 機能)	1-35
インターネットの接続を規制するには (IP アドレス・ポートフィルタ)	1-40
スタティックルーティングを するには	1-44
VPN パススルー設定	1-47

外部からの不正アクセスを防止するには (SPI 機能)	1-50
Windows 共有フィルタを 設定するには	1-51
ステルス機能を設定するには	1-54
IPv6 サービスを利用するには	1-57
PPPoE フレームを ブリッジするには	1-60
ひかり電話の音声劣化が 気になったときには	1-63
LAN 側の IP アドレスを 変更するには	1-65
無線 LAN クライアントからの通信を 制限するには (MAC アドレスフィルタリング)	1-67
複数のパソコンを接続するには	1-70
MAC アドレスの確認方法	1-73

2 本商品の設定画面

Web ブラウザ設定一覧	2-1
設定項目説明	2-3
かんたん設定	2-3
ルータ設定	2-4
ネットワーク設定	2-4
PPPoE 設定	2-7
DHCP 設定	2-9

マニュアルの
見かた

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

NAPT 設定	2-11
IP フィルタ設定	2-13
ルーティングテーブル設定	2-15
VPN パススルー設定	2-17
Windows 共有フィルタ / ステルス設定	2-18
無線 LAN 設定 - 基本設定	2-19
無線 LAN 設定 - 暗号化設定	2-20
無線 LAN 設定 - MAC アドレスフィルタリング	2-22
電話設定	2-23
状態表示	2-24
ログ表示	2-27
障害ログ表示	2-27
通話ログ表示	2-28
保守	2-29
パスワード設定	2-29
Ping 送信	2-29
設定値保存 / 復元	2-30
ファームウェア更新	2-31
ファームウェア更新設定	2-32
再起動	2-33

3 付録

設定記入シート	3-1
用語集	3-23

マニュアルの見かた

マニュアルの
見かた

1 こんなときにはこの設定にする

本商品で利用できるサービスについて説明します。概要、データ設定、環境構築、使用方法などについてまとめました。

■インターネットに関する設定
インターネット接続サービスを利用したときの各種サービスについてまとめました。

2 本商品の設定画面

かんたん設定やルータ、電話、無線LANなどの各種設定、状態表示、ログ表示などのメニューがあります。メニューをクリックすると各種Webブラウザ画面が表示されます。この章では画面単位の設定内容について説明します。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3 付録

付録として用語集、設定記入シートを載せましたので活用してください。

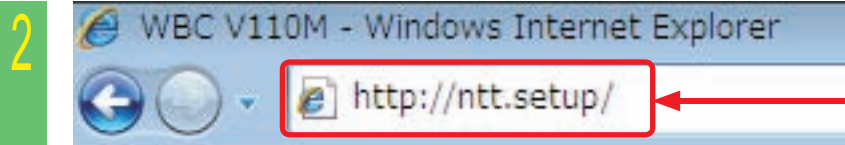
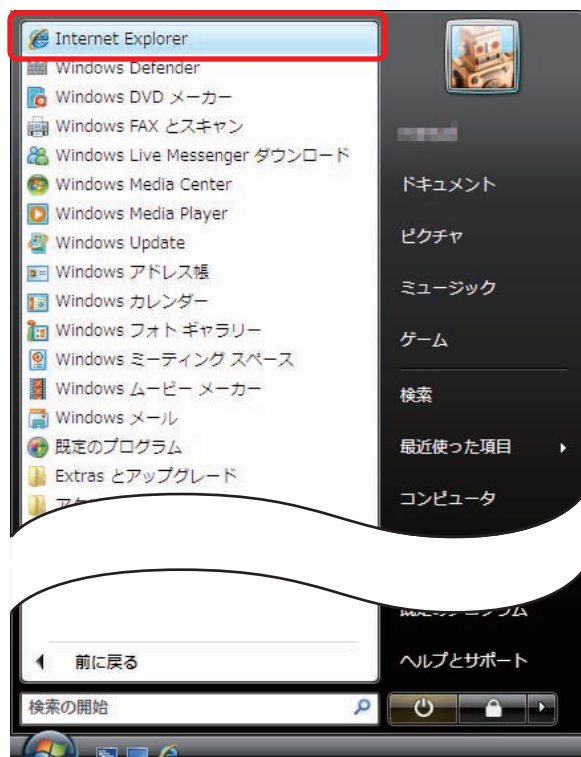
目次

用語集

■ 本商品へのログイン方法

かんたん設定やルータ、電話、無線LANなどの各種設定、状態表示、ログ表示などの各種Webブラウザ画面を表示するための、本商品へのログイン方法を説明します。

- 1 本商品に接続したパソコンで[スタート]-[すべてのプログラム]から[Internet Explorer] アイコンをクリックします。



※「http://ntt.setup/」と半角文字で入力し、「Enter」を押します。

マニュアルの
見かた

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3

① 「admin」を入力します。

② 「初期設定」で設定したWeb設定ログインパスワードを入力します。

③ 「OK」をクリックします。

画面左にメニュー、右に「かんたん設定」画面を表示します。

目次

用語集

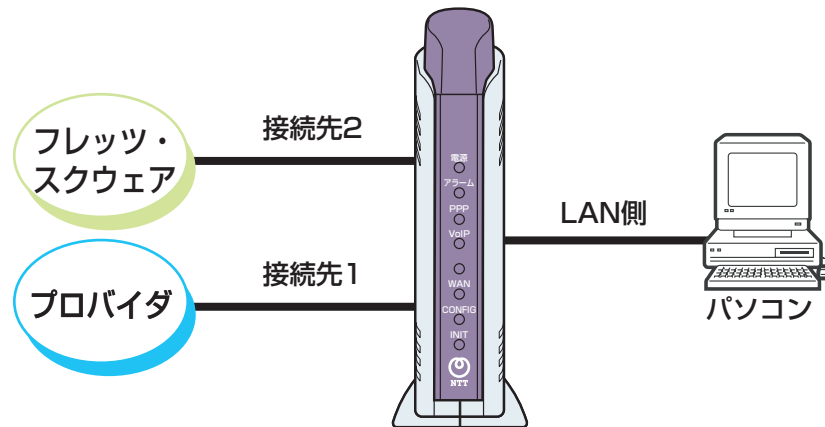
第1章 こんなときにはこの設定にする

● インターネットに関する設定 ●

■ PPPoE接続（マルチセッション）を用いてフレッツ・スクウェアへ接続するには

PPPoEのマルチセッション機能を使うことで、2つのネットワークに同時に接続することができ、接続先の切り替えなしで異なるネットワークがご利用になれます。

ここでは以下のような構成例に従いセッション2で当社提供サービスのフレッツ・スクウェアをご利用になる場合の設定について説明します。セッション1（接続先1情報）はお客様が契約されているプロバイダに接続されていることを前提とします。



1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

● 設定方法

■ 本商品の設定

1

WBC V110M

かんたん設定

▼ ルータ設定

ネットワーク設定

PPPoE設定

DHCP設定

NAPT設定

ログ表示

保守

再起動

反映

「メニュー」から「ルータ設定」－「PPPoE設定」をクリックします。

2

接続先設定	接続先1	接続先2	接続先3	接続先4	接続先5	接続しない
セッション1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
セッション2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ルータタイプ条件						

「セッション2」の接続先を選択します。この場合は「接続先2」を選択しています。

1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

3 付録

3

接続先2

接続ユーザ名	<input type="text"/>
接続パスワード	<input type="password"/>
接続パスワード確認	<input type="password"/>
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input type="radio"/> PAP+CHAP
接続モード	<input type="button" value="要求時接続"/> 自動切断までの時間 1800 秒
DNSサーバアドレス	プライマリ <input type="text"/> セカンダリ <input type="text"/>
MTU値	<input type="text" value="1452"/>
IP アドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続) IP アドレス / マスク長 <input type="text"/> / <input type="text"/>

① フレッツ・スクウェアへの接続情報を入力します。
各項目の入力値については下記の表をご覧ください。

	NTT 東日本ご利用の方	NTT 西日本ご利用の方
接続ユーザ名	guest@fleets	fleets@fleets
接続パスワード	guest	fleets
接続パスワード確認	guest	fleets
接続モード	要求時接続 自動切断までの時間 : 1800 (秒)	要求時接続 自動切断までの時間 : 1800 (秒)

DNSサーバアドレス	プライマリ <input type="text"/> セカンダリ <input type="text"/>
MTU値	<input type="text" value="1452"/>
IP アドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続) IP アドレス / マスク長 <input type="text"/> / <input type="text"/>

② 「確認」 をクリックします。

③ 「送信」 をクリックします。

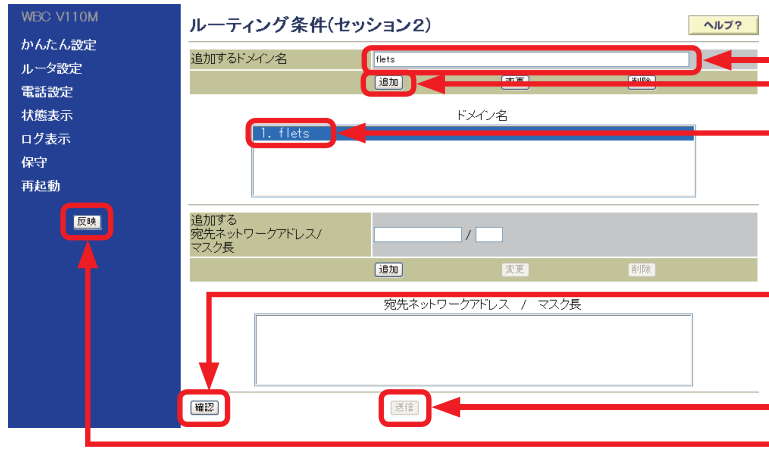
4

接続先設定

	接続先1	接続先2	接続先3	接続先4	接続先5	接続しない
セッション1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
セッション2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ルーティング条件	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

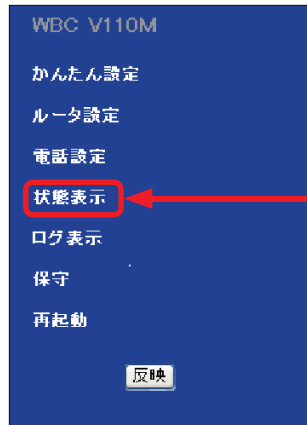
「ルーティング条件」 をクリックします。

5



- ①「追加するドメイン名」に「flets」と入力します。
- ②「追加」をクリックします。
- ③「ドメイン名」の一覧に「flets」が追加されていることを確認します。
- ④「確認」をクリックします。
- ⑤「送信」をクリックします。
- ⑥「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。
設定した内容が有効になります。

6



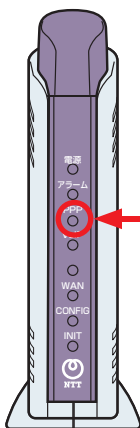
「メニュー」から「状態表示」をクリックします。

7

PPPoE状態(セッション1)	正常
PPPoE状態(セッション2)	未使用

「セッション1」の状態が「正常」、「セッション2」の状態が「未使用」と表示されているかどうか確認します。
※パソコンからフレッツ・スクウェアへ接続すると、「セッション2」の状態は「正常」を表示します。

8



本商品の「PPPランプ」の確認をします。
橙色のランプが点灯していればマルチセッションで接続されています。

ランプ種別	ランプ表示
PPP ランプ	点灯 (緑) : 1セッション接続時 点灯 (橙) : 2セッション接続時

これで設定は終了しました。

ワンポイント

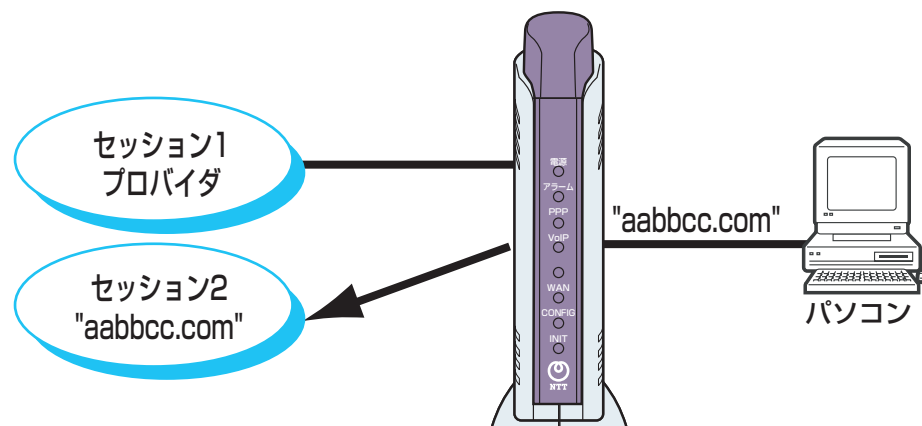
- 「追加するドメイン名」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには (DHCPサーバ機能)」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。(●P1-16)

■ ドメインごとに問い合わせ先のDNSサーバを振り分けるには (DNSリレー機能)

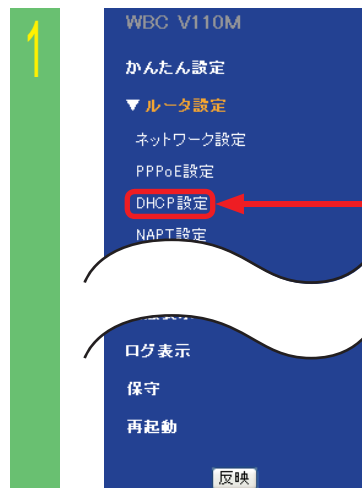
DNSリレー機能とはLAN側のパソコンからのDNS問い合わせに対し、本商品がWAN側のDNSサーバに代理で問い合わせ、名前解決を実施する機能です。

DNSへの問い合わせをセッション1/セッション2に振り分けることができます。

構成例



● 設定方法
■ 本商品の設定



「メニュー」から「ルータ設定」－「DHCP設定」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

1 こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録**2**

DHCP設定

ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側IPアドレス/マスク長 192.168.1.1 / 24

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能 有効

割り当て開始 IPアドレス 192.168.1.2

割り当て終了 IPアドレス 192.168.1.11

DNS サーバアドレス 192.168.1.1

固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

IPアドレス

MACアドレス

記入例 00:11:22:33:44:55

追加

変更

削除

IPアドレス MACアドレス

① 「DHCPサーバ機能」のプルダウンメニューから「有効」を設定します。**②** LAN側IPアドレスと同様の値を入力します。**③** 「確認」をクリックします。**④** 「送信」をクリックします。

3

WBC V110M

かんたん設定

▼ ルータ設定

ネットワーク設定

PPPoE設定

DHCP設定

NAPT設定

IPフィルタ設定

ルーティングテーブル設定

・ルーティング条件(セッション1)

・ルーティング条件(セッション2)

VPN/スループット設定

Windows共有フィルタ
/ステルス設定

状態表示

ログ表示

保守

再起動

反映

「メニュー」から「ルータ設定」－「ルーティングテーブル設定」-「ルーティング条件（セッション2）」をクリックします。

4

ルーティング条件(セッション2)

ヘルプ?

追加するドメイン名

- ①「追加するドメイン名」に「aabbcc.com」を入力します。
②「追加」をクリックします。

ドメイン名

1. aabbcc.com

- ③一覧に「aabbcc.com」が表示されていることを確認します。

追加する宛先ネットワークアドレス / マスク長 /

宛先ネットワークアドレス / マスク長

- ④「確認」をクリックします。

- ⑤「送信」をクリックします。

5

- 「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

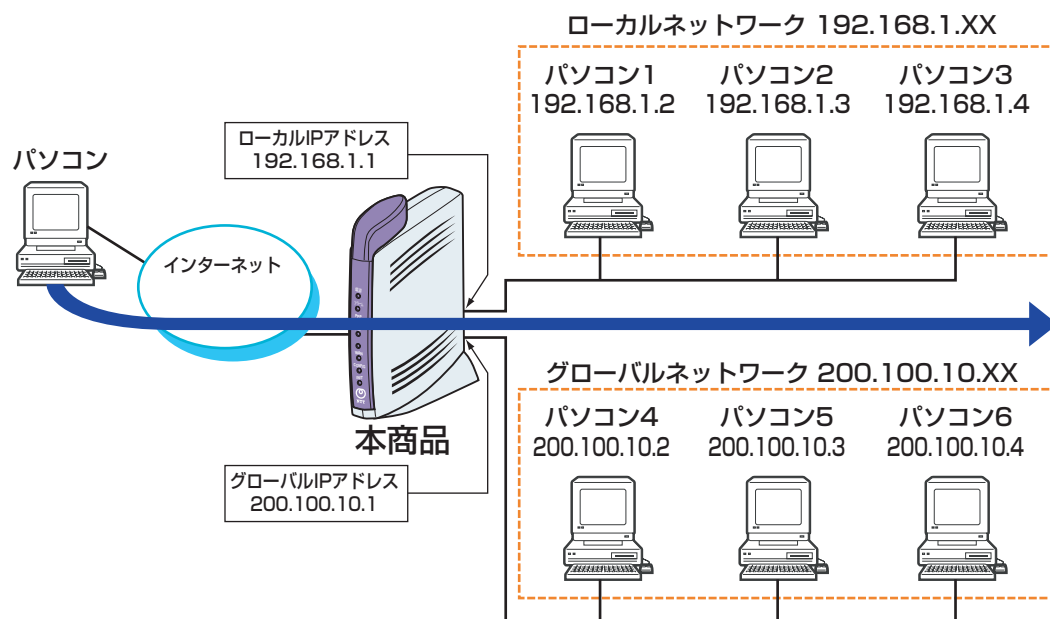


ワンポイント

- ドメイン名の登録は16個まで行えます。

■ 複数の固定IPアドレスサービスを利用するには (unnumbered接続)

本商品では、プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定IPアドレスを、本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバルIPアドレスによるサブネットワークを構築できます。複数のグローバルIPアドレスを付与するサービスを利用して、複数のインターネットサーバ公開や外出先から自宅のパソコンへのアクセスなどが可能になります。



事前に以下の用意をします。

- ① unnumbered接続（複数固定IPサービス）の契約（プロバイダへの申し込み）をします。

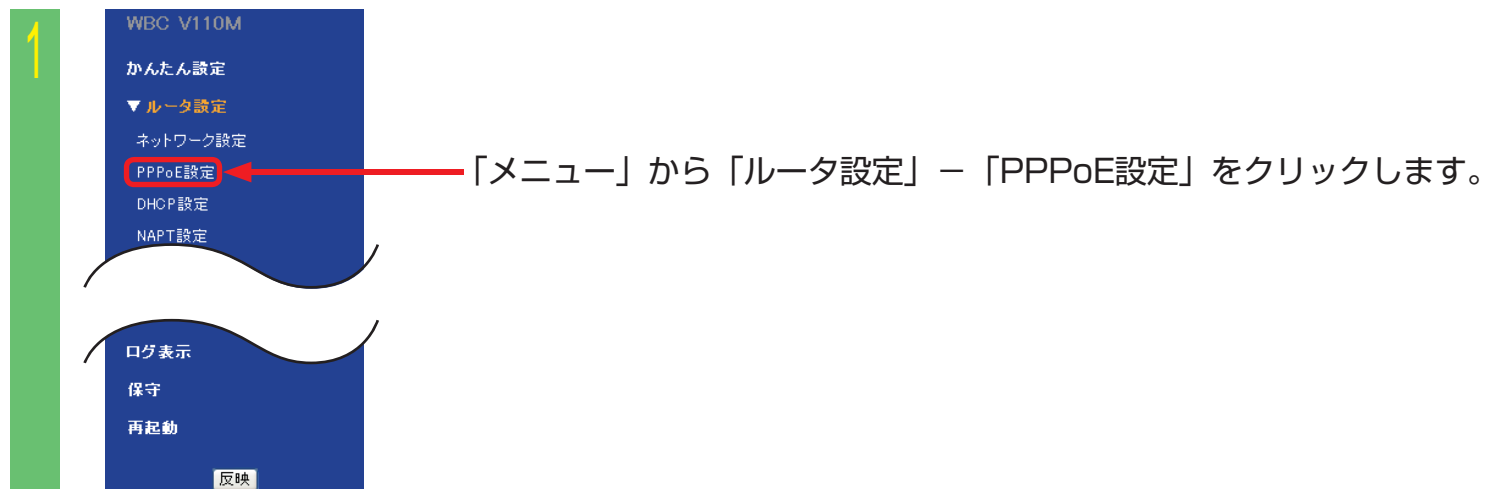
1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

● 設定方法

■ 本商品の設定



2

接続先設定

	接続先1	接続先2	接続先3	接続先4	接続先5	接続しない
セッション1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
セッション2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ルーティング条件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

①「セッション1」の「接続先1」をチェックします。

接続先1

接続ユーザ名	a0000000000@bbb.ccc.ne.jp	
接続パスワード	*****	
接続パスワード確認	*****	
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input checked="" type="radio"/> PAP+CHAP	
接続モード	常時接続 <input type="button" value="v"/> 自動切断までの時間 <input type="text" value="0"/> 秒	
DNSサーバアドレス	プライマリ <input type="text" value="200.100.10.100"/>	セカンダリ <input type="text" value="200.100.10.200"/>
MTU値	<input type="text" value="1452"/>	
IP アドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input checked="" type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続)	
	IP アドレス	/ マスク長
	<input type="text" value="200.100.10.1"/>	<input type="text" value="28"/>

② ご契約のプロバイダから付与された接続ユーザ名を入力します。

③ ご契約のプロバイダから付与されたパスワードを入力します。

④ ご契約のプロバイダから付与されたパスワードをもう一度入力します。

⑤ ご契約のプロバイダからDNSサーバアドレスを指定された場合は、指定されたアドレスを入力します。

この例ではプライマリ「200.100.10.100」、セカンダリ「200.100.10.200」を指定しています。

⑥ 「IPアドレス指定」は「指定する (unnumbered接続)」をチェックします。

⑦ 「IPアドレス」と「マスク長」はご契約のプロバイダから割り振られた固定IPアドレスを入力します。この例では「200.100.10.1/28」を指定しています。

DNSサーバアドレス	プライマリ	<input type="text"/>	セカンダリ	<input type="text"/>
MTU値	<input type="text" value="1452"/>			
IP アドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input checked="" type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続)			
	IP アドレス	/ マスク長	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑧ 「確認」をクリックします。

⑨ 「送信」をクリックします。

確認

送信

3

反映

「反映」をクリックします。

システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで本商品の設定は終了しました。

続けて接続するパソコンの設定を行います。以下ではP1-11のパソコン4の設定を説明しています。

■パソコンの設定

- 1 取扱説明書の4章または9章の手順を参照し、「インターネットプロトコル (TCP/IP)のプロパティ」画面 (Windows Vista™の場合は「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」画面)を開きます。

2

①「次のIPアドレスを使う」をチェックします。

②「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定します。

③「優先DNSサーバー」を設定します。「代替DNSサーバー」は空欄でかまいません。

④「OK」をクリックします。

3 「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

これで設定は終了しました。

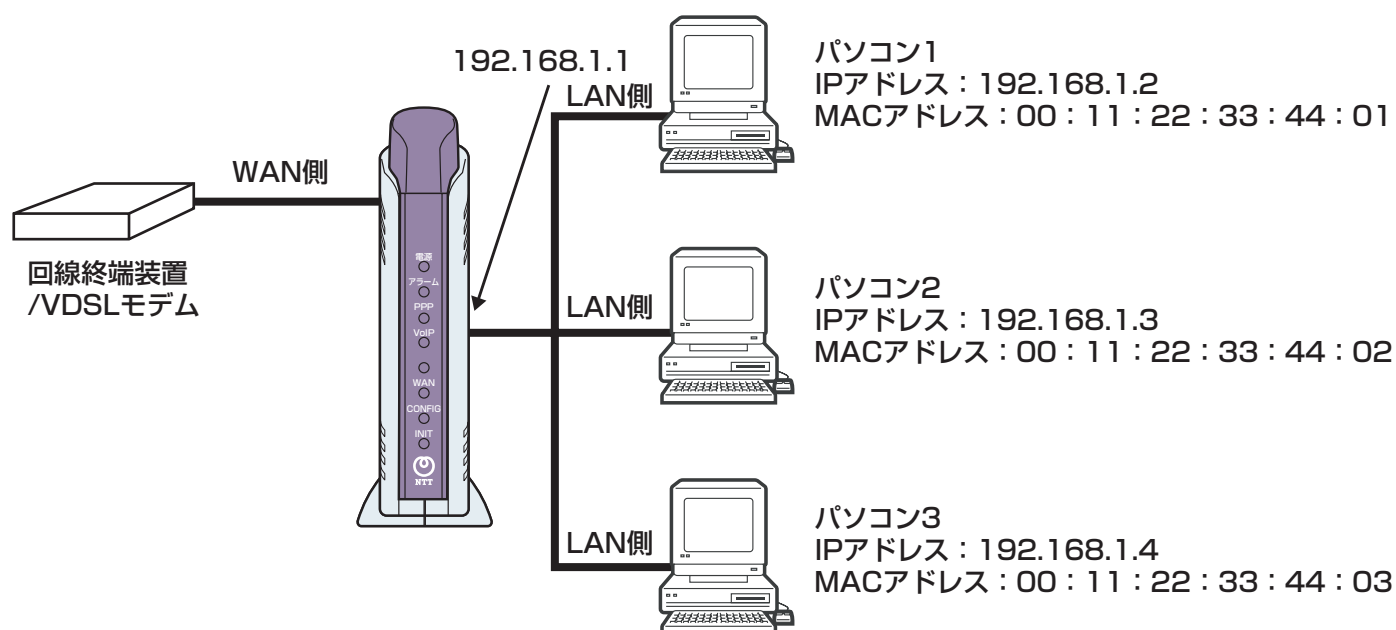
お知らせ

- プロバイダから割り当てられる連続したグローバルIPアドレスのうち、最初（ネットワークアドレス）と最後（ブロードキャストアドレス）はシステムで予約されていますので、本商品やパソコンへ設定しないでください。
- unnumbered接続の設定時にIPアドレスの重複を知らせるエラーメッセージが表示された場合は、unnumbered接続で使用するIPアドレスを別のIPアドレスに変更してください。

■ パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）

本商品の「DHCP設定」の「固定IPアドレスで使用する端末の情報設定」を使用することで最大16個までの端末に対してIPアドレスを一定にすることができます。

以下の構成例ではLAN側のIPアドレスとマスク長を「192.168.1.1/24」とし、複数台のパソコンがつながっている状態です。



● 設定方法

■ 本商品の設定

(MACアドレスが「00:11:22:33:44:01」である端末 (パソコン1) をIPアドレス「192.168.1.2」に設定する場合)



「メニュー」から「ルータ設定」 - 「DHCP設定」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

2

DHCP設定

ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長 192.168.1.1 / 24

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能	有効
割り当て開始 IPアドレス	192.168.1.2
割り当て終了 IPアドレス	192.168.1.20
DNS サーバアドレス	192.168.1.1

固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

IPアドレス	192.168.1.2
MACアドレス	00:11:22:33:44:01

IPアドレス	MACアドレス
1. 192.168.1.2 / 00:11:22:33:44:01	

確認

送信

① 「LAN側IPアドレス/マスク長」に「192.168.1.1/24」を入力します。

② 「IPアドレス」に「192.168.1.2」を入力します。

③ 「MACアドレス」に「00:11:22:33:44:01」を入力します。
※「MACアドレスの確認方法」(P1-73)を参照してください。

④ 「追加」をクリックします。

⑤ 入力した値が一覧に表示されているかどうか確認します。

⑥ 「確認」をクリックします。

⑦ 「送信」をクリックします。

3

反映

「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

(IPアドレスが192.168.1.5で登録した端末を削除する場合)

1

「メニュー」から「ルータ設定」 - 「DHCP設定」をクリックします。

2

DHCP設定

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長 192.168.1.1 / 24

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能 有効

割り当て開始 IPアドレス 192.168.1.2

割り当て終了 IPアドレス 192.168.1.11

DNS サーバアドレス 192.168.1.1

固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

IPアドレス 192.168.1.5

MACアドレス 00:11:22:33:44:04 (記入例 00:11:22:33:44:55)

削除

① 一覧から「192.168.1.5」を選択します。

② 一覧の情報が入力エリアに表示されているかどうか確認します。

③ 「削除」をクリックします。

	IPアドレス	MACアドレス
1.	192.168.1.2	00:11:22:33:44:01
2.	192.168.1.3	00:11:22:33:44:02
3.	192.168.1.4	00:11:22:33:44:03
4.	192.168.1.5	00:11:22:33:44:04
5.	192.168.1.6	00:11:22:33:44:05
6.	192.168.1.7	00:11:22:33:44:06
7.	192.168.1.16	00:11:22:33:44:15

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3

	IPアドレス	MACアドレス
1.	192.168.1.2	/ 00:11:22:33:44:01
2.	192.168.1.3	/ 00:11:22:33:44:02
3.	192.168.1.4	/ 00:11:22:33:44:03
4.	192.168.1.6	/ 00:11:22:33:44:05
5.	192.168.1.7	/ 00:11:22:33:44:06
6.	192.168.1.16	/ 00:11:22:33:44:15

① 一覧に「192.168.1.5」が表示されていないことを確認します。

確認

送信

② 「確認」をクリックします。

③ 「送信」をクリックします。

4

反映

「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

(IPアドレスが192.168.1.6で登録した端末のIPアドレスを192.168.1.7に変更する場合)

1

「メニュー」から「ルータ設定」 - 「DHCP設定」をクリックします。

2

DHCP設定

ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長 192.168.1.1 / 24

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能 有効

割り当て開始 IPアドレス 192.168.1.2

割り当て終了 IPアドレス 192.168.1.11

DNS サーバアドレス 192.168.1.1

固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

IPアドレス 192.168.1.7

MACアドレス 00:11:22:33:44:05 (記入例 00:11:22:33:44:55)

追加 変更 削除

	IPアドレス	MACアドレス
1.	192.168.1.2 / 00:11:22:33:44:01	
2.	192.168.1.3 / 00:11:22:33:44:02	
3.	192.168.1.4 / 00:11:22:33:44:03	
4.	192.168.1.6 / 00:11:22:33:44:05	
5.	192.168.1.10 / 00:11:22:33:44:15	

① 一覧から「192.168.1.6」を選択します。

② 「IPアドレス」に「192.168.1.7」を入力します。

③ 「変更」をクリックします。

確認 送信

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3

	IPアドレス	MACアドレス
1.	192.168.1.2 / 00:11:22:33:44:01	
2.	192.168.1.3 / 00:11:22:33:44:02	
3.	192.168.1.4 / 00:11:22:33:44:03	
4.	192.168.1.7 / 00:11:22:33:44:05	
5.	192.168.1.15 / 00:11:22:33:44:15	

①「192.168.1.6」が削除され「192.168.1.7」と表示されていることを確認します。

確認

送信

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

4

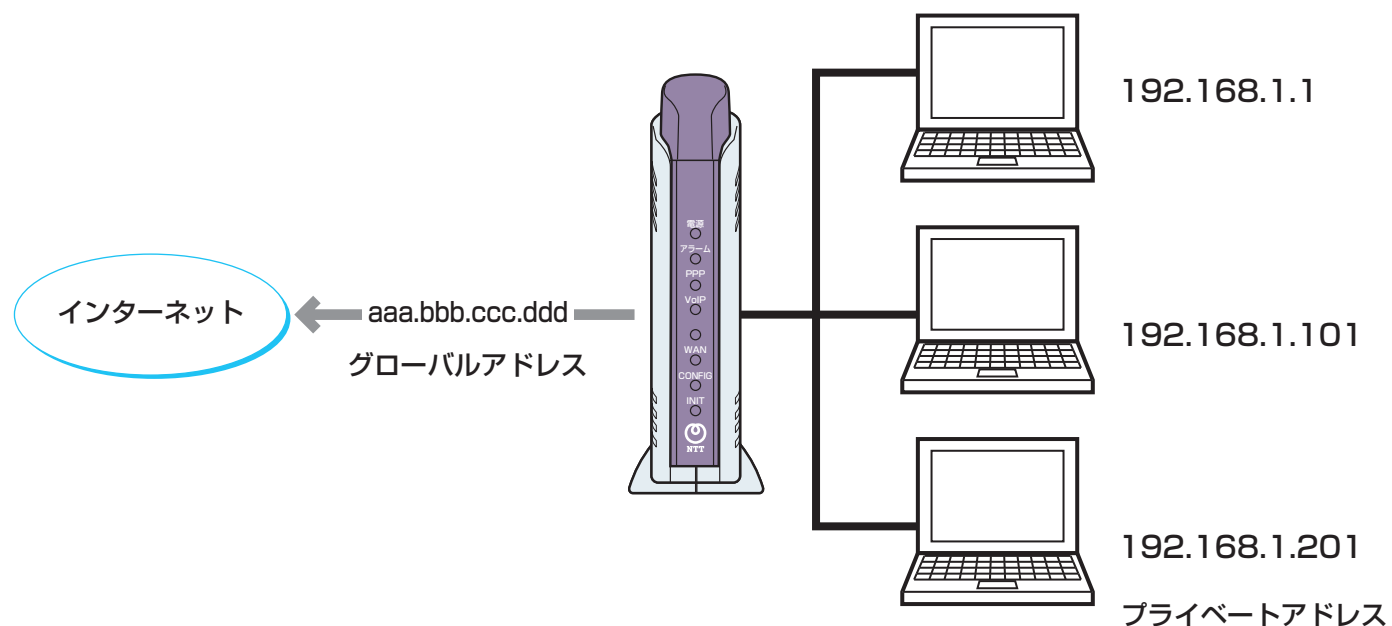
反映

「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

■ NAPT機能 (IPマスカレード)

1つのグローバルアドレスを利用して、LAN側のプライベートアドレスを持つ複数のパソコンをインターネットに接続できる機能です。
IPアドレスが外部に流出することを防ぎます。



ワンポイント

- NAPT機能 (IPマスカレード) は、初期設定状態で「有効」になっています。

● 設定方法

■ 本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」 - 「NAPT設定」をクリックします。

2

①「有効」を選択します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

3 付録

3

反映

「反映」をクリックします。
システム更新後、「かんたん設定」画面を表示します。設定
した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

■ 音声・ビデオチャットを使用するには（UPnP機能）

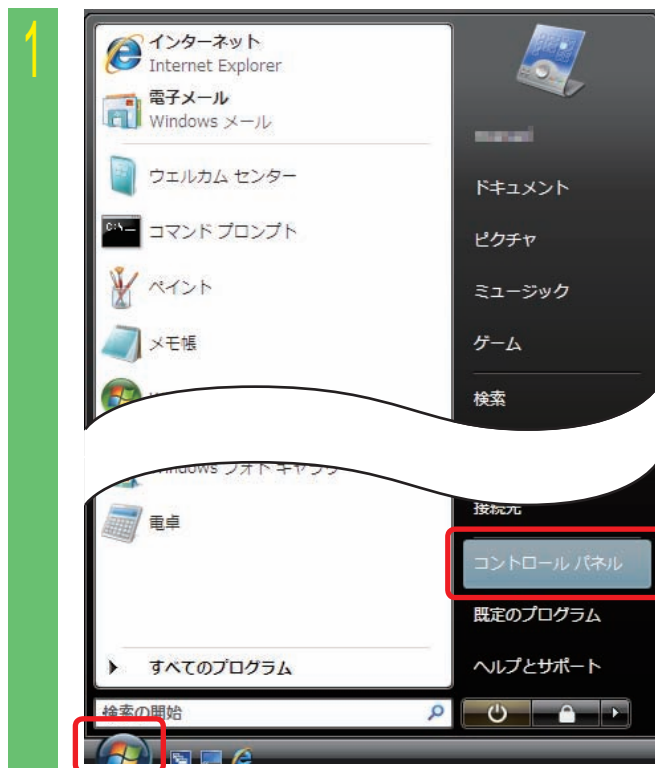
本商品のUPnP機能を利用して、パソコンにインストールされている音声・ビデオチャットを使用できます。UPnP機能をご利用になる場合は、本商品に設定を行う必要があります。

本機能をご利用の場合は、パソコンの以下の手順で[インターネットゲートウェイ]に本商品が表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、パソコンを再起動して再度ご確認ください。本機能を利用するアプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。

● 設定方法

■ パソコンの設定

(Windows Vista™の場合)



「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

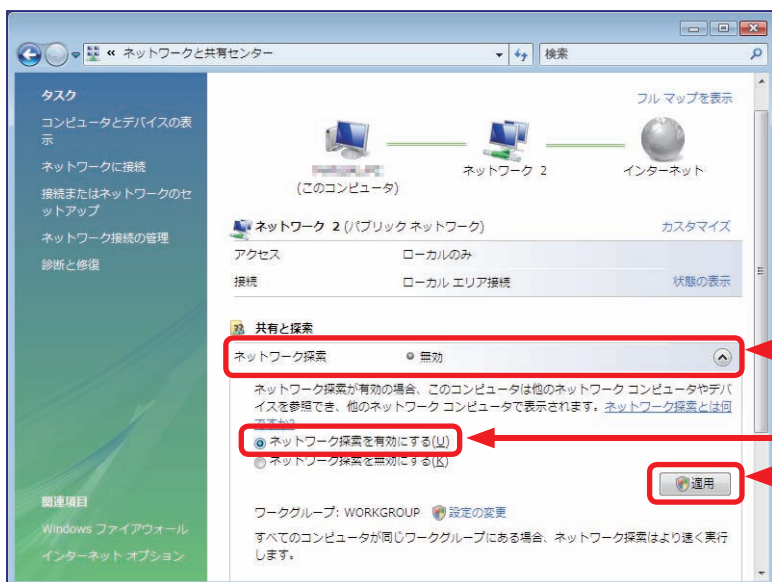
3 付録

2



「ネットワーク状態とタスクの表示」をクリックします。

3

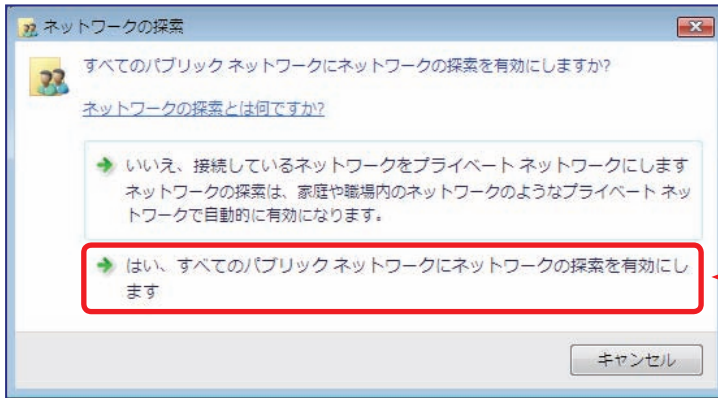
① 「ネットワーク探索」が「無効」になっている場合は
右端の矢印をクリックします。

② 「ネットワーク探索を有効にする」をクリックします。

③ 「適用」をクリックします。

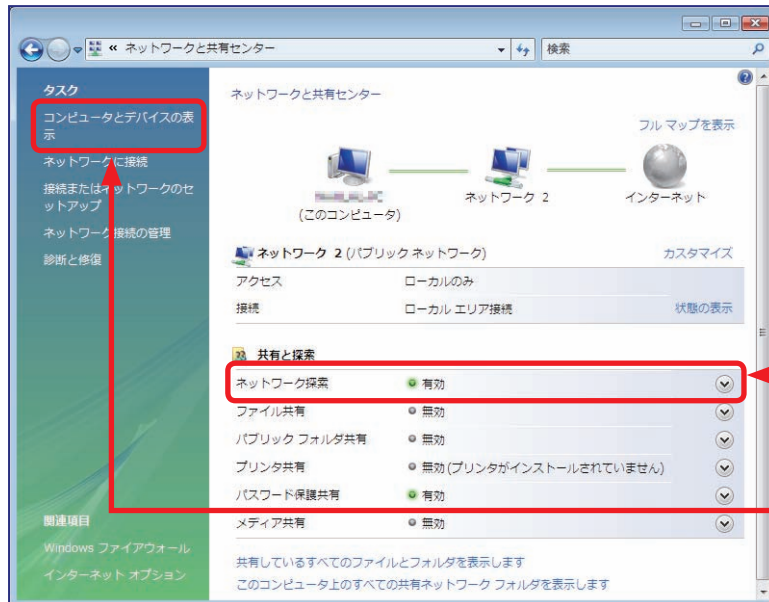
※ 「ユーザアカウント制御」画面が表示された場合は
「続行」をクリックします。

4



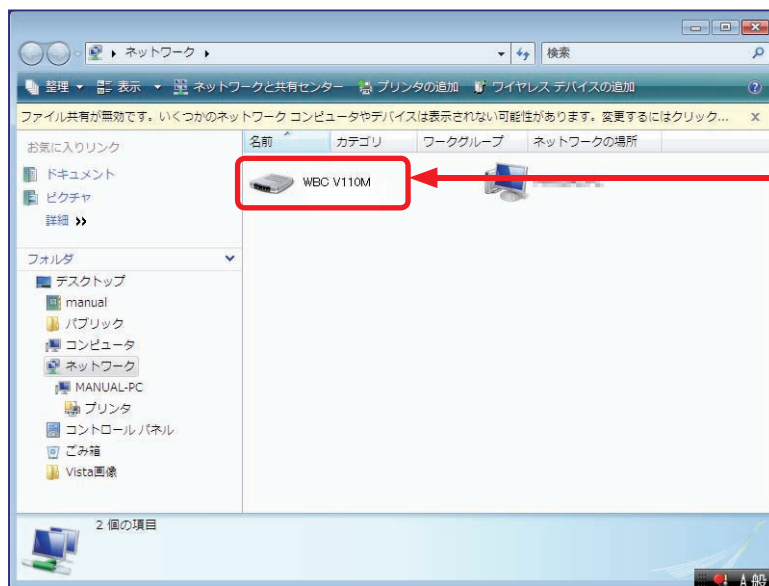
「はい、すべてのパブリックネットワークとネットワーク探索を有効にします。」をクリックします。

5



① 「ネットワーク探索」が「有効」になっていることを確認します。

② 「コンピュータとデバイスの表示」をクリックします。



「ネットワーク」画面に本商品が表示されていることを確認します。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

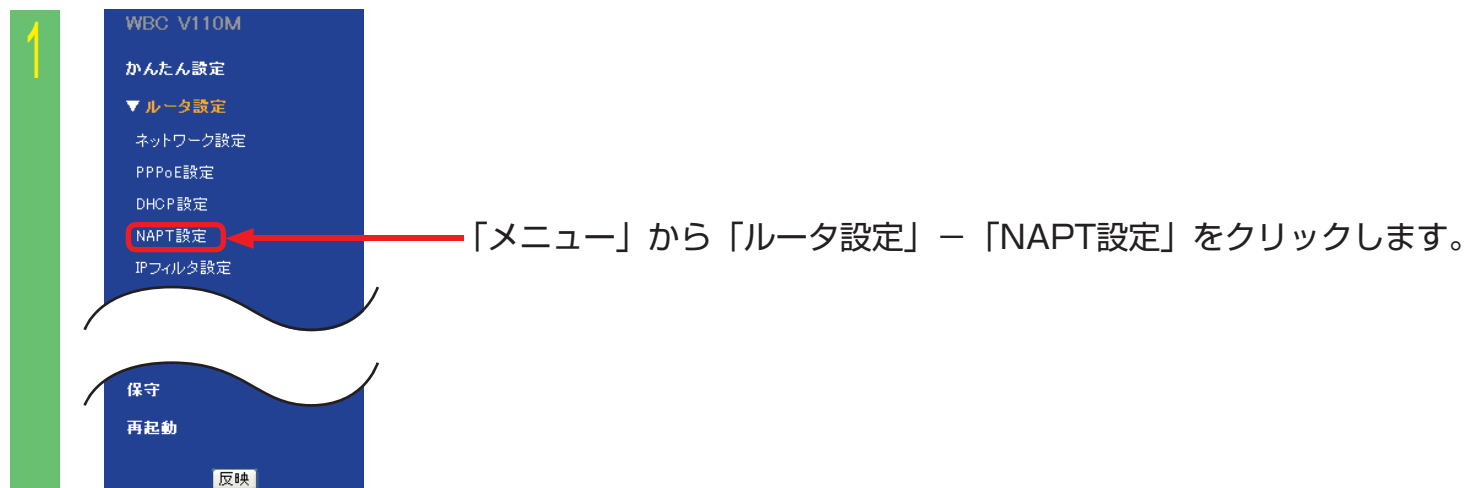
3 付録

お知らせ

- Windows® XPの場合は、「スタート」-「コントロールパネル」から、「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順にクリックし、「ネットワーク接続」画面に「インターネット接続」のアイコンが表示されていることを確認してください。

ここでは音声・ビデオチャットを行いたい接続先がセッション1の場合の設定について説明します。

■本商品の設定



2

NAPT設定 ヘルプ?

動的NAPT機能 有効 ▼

簡易DMZ IPアドレス

UPnP設定

UPnP機能 セッション1 有効 ▼

静的NAPT設定(ポート転送規則)

割り当て WAN側 受信ポート範囲 ~

プロトコル種別 TCP UDP

LAN側 転送IPアドレス

LAN側 転送ポート

①「動的NAPT機能」のプルダウンメニューから「有効」を選択します。

②「UPnP機能」のプルダウンメニューから「セッション1 有効」を選択します。セッション2に接続したい場合は「セッション2 有効」を選択します。

WAN側ポート 開始 - 終了 / プロトコル -> LAN側転送IPアドレス : ポート

③「確認」をクリックします。

④「送信」をクリックします。

3

反映

「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

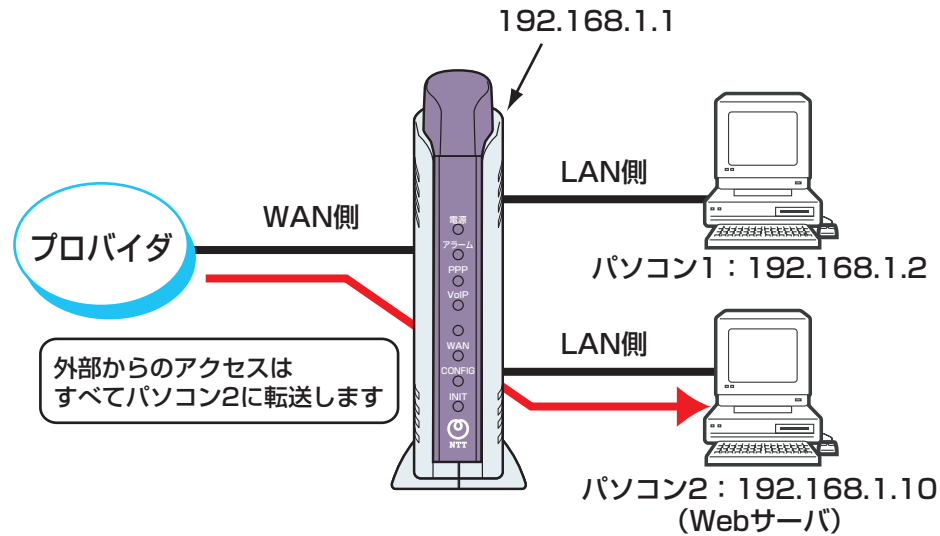
これで設定は終了しました。
音声・ビデオチャットをお楽しみください。

お知らせ

- 本商品は音声・ビデオチャットのすべてのサービスを保証するものではありません。
- 音声・ビデオチャットの詳細はホームページなどをご確認ください。
- UPnP機能の設定は初期設定状態で「セッション1 有効」になっています。セッション1、セッション2のどちらか一方しか有効には設定できません。

■ 外部にサーバを公開するには（簡易DMZ機能）

本商品では外部からのアクセスをすべて1台のパソコンに転送する簡易DMZ機能を使用することができます。この機能を使用することにより、外部にサーバを公開するための設定を簡単に行うことができます。




● 設定方法

■ 本商品の設定

1 「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」（☞P1-16）を実施して、Webサーバとして公開するパソコンのIPアドレスを設定します。

2



「メニュー」から「ルータ設定」－「NAPT設定」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3

NAPT設定 ヘルプ?

動的NAPT機能 有効 無効

簡易DMZ IPアドレス

UPnP設定

UPnP機能 セッション1 有効 無効

静的NAPT設定(ポート転送規則)

割り当て WAN側 受信ポート範囲 ~

プロトコル種別 TCP UDP

LAN側 転送IPアドレス

LAN側 転送ポート

①「簡易DMZ IPアドレス」に「192.168.1.10」と入力します。

WAN側ポート 開始 - 終了 / プロトコル -> LAN側転送IPアドレス : ポート

WAN側ポート 開始 - 終了 / プロトコル ->	LAN側転送IPアドレス : ポート

②「確認」をクリックします。

確認

③「送信」をクリックします。

送信

4

「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

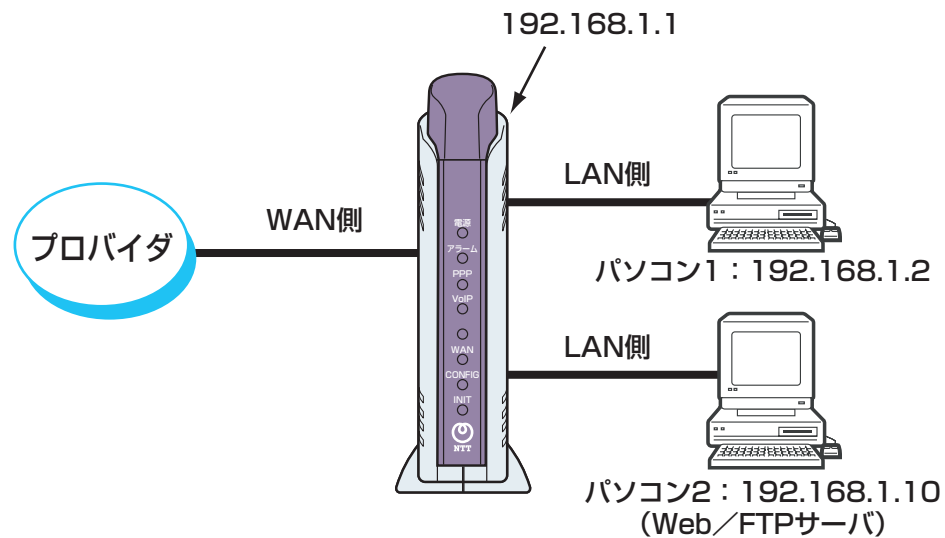
お知らせ

- 本商品の簡易DMZ機能は、お客様がパソコン上でご使用になるソフトウェアによっては正常に動作しない場合があります。すべてのソフトウェアの動作を保証するものではありません。
- 設定されたパソコンに対してファイアウォール機能が無効になるため、セキュリティが低下しますので、ご注意ください。

■ 外部にサーバを公開するには（静的NAPT機能）

本商品に静的NAPT設定を行い、WAN側からLAN側へのポート転送規則を定義することで、LAN側に接続したパソコンをサーバ（Webサーバ、FTPサーバなど）としてインターネットへ公開することができます。

以下の構成例では、パソコン1を通常のLAN側のパソコン（IPアドレス：192.168.1.2）、パソコン2をサーバが稼動するLAN側のパソコン（IPアドレス：192.168.1.10）としています。



● 設定方法

■ 本商品の設定

(Webサーバとして公開する場合)

1 「パソコンのアドレスを固定にするには (DHCPサーバ機能)」 (P1-16) を実施して、Webサーバとして公開するパソコンのIPアドレスを設定します。



「メニュー」から「ルータ設定」 - 「NAPT設定」をクリックします。

3

NAPT設定 ヘルプ?

動的NAPT機能 有効

簡易DMZ IPアドレス

UPnP設定

UPnP機能 セッション1 有効

静的NAPT設定 (ポート転送規則)

割り当て WAN側 受信ポート範囲 80 ~ 80

プロトコル種別 TCP UDP

LAN側 転送IPアドレス 192.168.1.10

LAN側 転送ポート 80

WAN側ポート 開始 - 終了 / プロトコル → LAN側転送IPアドレス : ポート

1.	80 - 80 / TCP	→	192.168.1.10 : 80
----	---------------	---	-------------------

① 「動的NAPT機能」を「有効」にします。

② 「割り当てWAN側受信ポート範囲」に「80」を入力します。

③ 「プロトコル種別」に「TCP」をチェックします。

④ 「LAN側転送IPアドレス」に「192.168.1.10」を入力します。

⑤ 「LAN側転送ポート」に「80」を入力します。

⑥ 「追加」をクリックします。

⑦ 一覧に入力したデータが表示されているか確認します。

⑧ 「確認」をクリックします。

⑨ 「送信」をクリックします。

4



「反映」をクリックします。

システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。


ワンポイント

- 「静的NAPT設定 (ポート転送規則)」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには (DHCPサーバ機能)」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。(●P1-16)

(FTPサーバとして公開する場合)

1 「パソコンのアドレスを固定にするには (DHCPサーバ機能)」(P1-16)を実施して、FTPサーバとして公開するパソコンのIPアドレスを設定します。

2



「メニュー」から「ルータ設定」 - 「NAPT設定」をクリックします。

3

NAPT設定

動的NAPT機能 [有効] ← ①「動的NAPT機能」を「有効」にします。

簡易DMZ IPアドレス

UPnP設定

UPnP機能 [セッション1 有効]

静的NAPT設定 (ポート転送規則)

割り当て WAN側 受信ポート範囲 [20 ~ 21] ← ②「割り当てWAN側受信ポート範囲」に「20~21」を入力します。

プロトコル種別 [TCP] ← ③「プロトコル種別」に「TCP」をチェックします。

LAN側 転送IPアドレス [192.168.1.10] ← ④「LAN側転送IPアドレス」に「192.168.1.10」を入力します。

LAN側 転送ポート [20] ← ⑤「LAN側転送ポート」に「20」を入力します。

[追加] ← ⑥「追加」をクリックします。

一覧に追加されたデータが表示されているか確認します。 ← ⑦

[確認] ← ⑧「確認」をクリックします。

[送信] ← ⑨「送信」をクリックします。

WAN側ポート 開始 終了 / プロトコル → LAN側転送IPアドレス : ポート

1.	20	21	TCP	→	192.168.1.10	20
----	----	----	-----	---	--------------	----

①「動的NAPT機能」を「有効」にします。

②「割り当てWAN側受信ポート範囲」に「20~21」を入力します。

③「プロトコル種別」に「TCP」をチェックします。

④「LAN側転送IPアドレス」に「192.168.1.10」を入力します。

⑤「LAN側転送ポート」に「20」を入力します。

⑥「追加」をクリックします。

⑦一覧に入力したデータが表示されているか確認します。

⑧「確認」をクリックします。

⑨「送信」をクリックします。

4

反映

「反映」をクリックします。

システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。



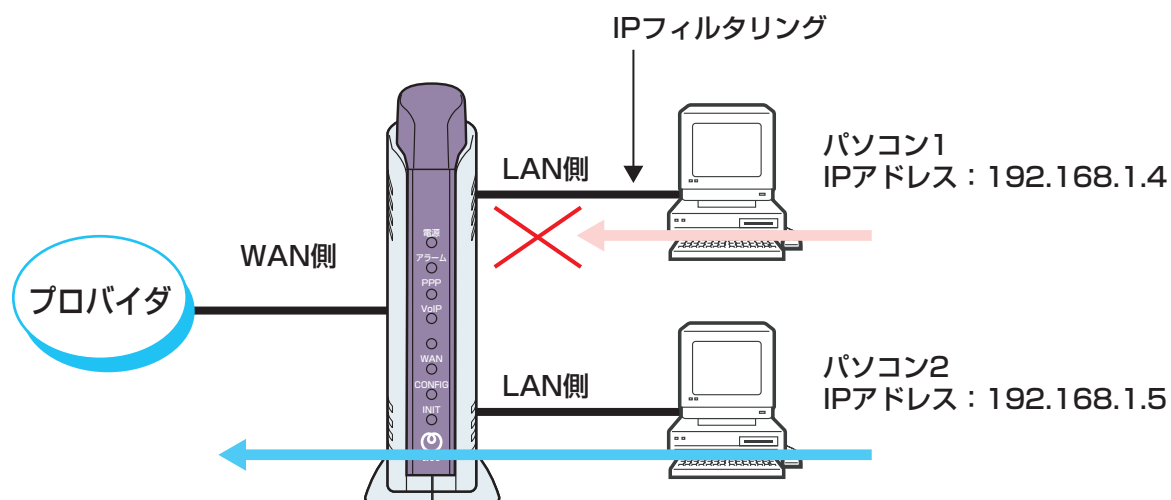
ワンポイント

- 「静的NAPT設定 (ポート転送規則)」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには (DHCPサーバ機能)」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。(P1-16)

■ インターネットの接続を規制するには (IPアドレス・ポートフィルタ)

パソコンからインターネットへの接続を規制することができます。「IPフィルタ設定」-「パケットフィルタ規制」を使用することでWAN側、およびLAN側からのアクセスをIPアドレスとポート番号を元に規制することができます。

ここでは、IPアドレスが「192.168.1.4」のパソコンからのインターネット接続を規制する設定を例に説明します。




● 設定方法

■ 本商品の設定

1 「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」（☞P1-16）を実施して、インターネット接続を規制するパソコンのIPアドレスを設定します。

2



「メニュー」から「ルータ設定」－「IPフィルタ設定」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3

IPフィルタ設定

ヘルプ?

デフォルトの規則 許可 破棄

パケットフィルタ規則

方針 (POLICY) 許可 破棄

プロトコル種別 (PROTOCOL) 全て TCP UDP ICMP

入力インタフェース (IN) 全て WAN LAN セッション1 セッション2

出力インタフェース (OUT) 全て WAN LAN セッション1 セッション2

送信元IPアドレス/マスク長 (SOURCEIP/MASK) 全て 指定 192.168.1.4 / 32

送信先IPアドレス/マスク長 (DESTINATIONIP/MASK) 全て 指定

送信先ポート番号 (PORT) 全て 指定

POLICY	PROTOCOL	IN	SOURCEIP/MASK	→	OUT	DESTINATIONIP/MASK	:PORT
1.	DROP	TCP	LAN	192.168.1.4/32	→	WAN	ANYWHERE;ANY

- ① 「破棄」をチェックします。
- ② 「TCP」をチェックします。
- ③ 「LAN」をチェックします。
- ④ 「WAN」をチェックします。
- ⑤ 「指定」をチェックし、「送信元IPアドレス」に「192.168.1.4」、「マスク長」に「32」を設定します。
- ⑥ 「全て」をチェックします。
- ⑦ 「全て」をチェックします。

※ 主なポート番号の例

下記以外の、番号／サービス名を割り振る場合や詳細については、ご利用になるサービス（ソフト）の説明書をご参照ください。

ポート番号	サービス名
20	ftpdata
21	FTP
23	telnet
25	SMTP
53	DNS
80	www
110	POP3

- ⑧ 「追加」をクリックします。
- ⑨ 一覧に設定したフィルタが登録されているか確認します。
- ⑩ 「確認」をクリックします。
- ⑪ 「送信」をクリックします。

4

反映

「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。
IPアドレスが「192.168.1.4」のパソコンからのインターネット接続ができなくなります。

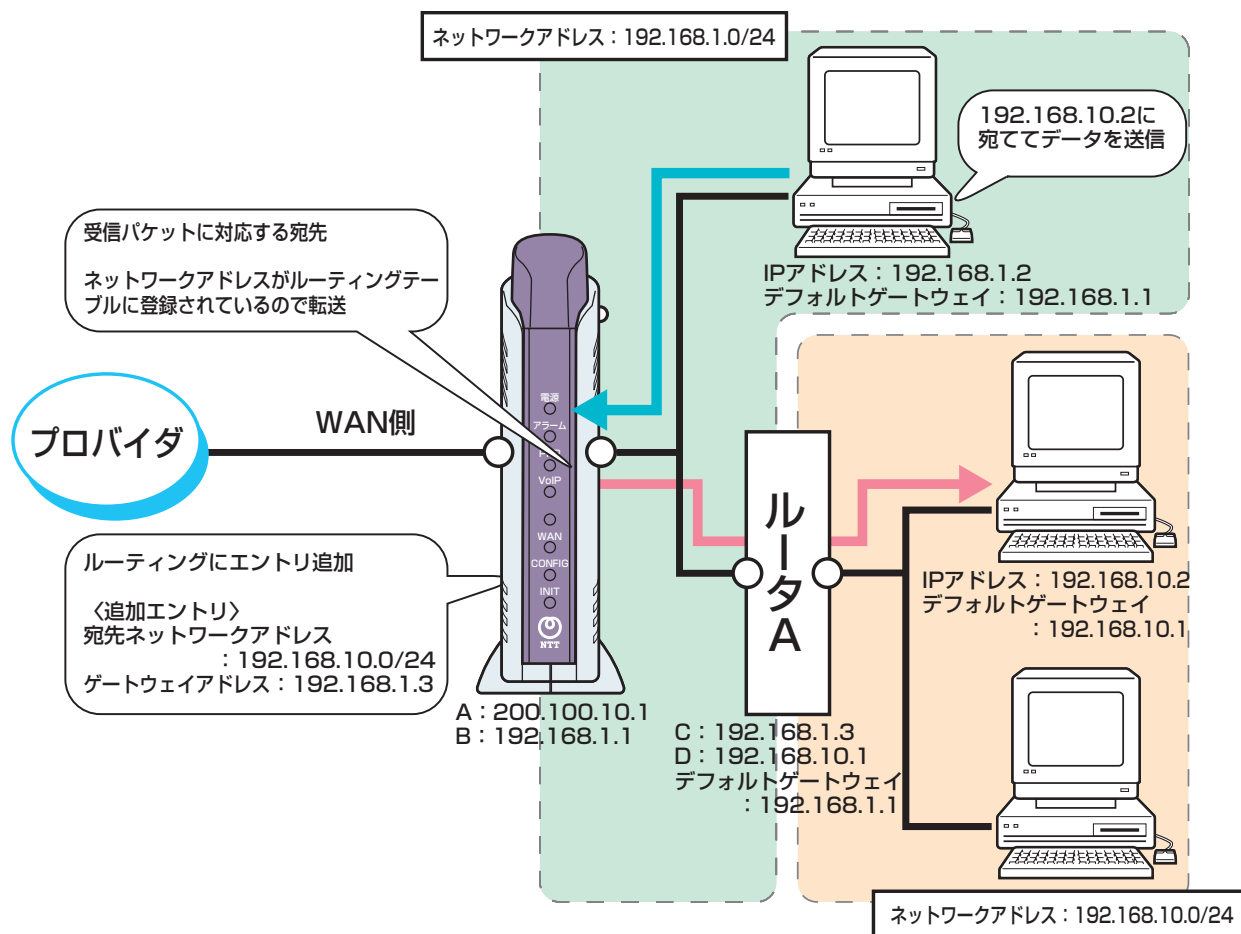
ワンポイント

- 最大64パターン登録できます。
- PPPoEセッション1/セッション2ごとに登録ができます。
- 「パケットフィルタ規則」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（▶P1-16）

■ スタティックルーティングをするには

ルーティングテーブルをあらかじめ本商品に設定しておくことで、常に固定的なルートを選択すること(スタティックルーティング)ができます。ルーティングテーブルには経路ごとに宛先ネットワークアドレス/マスク長とゲートウェイアドレスの組み合わせを指定します。

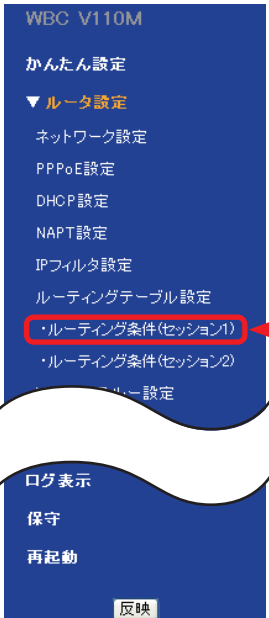
ここでは以下のように本商品にローカルルータ（ルータ A）が設置されていることを前提にローカルルータ配下に接続されたパソコン宛ての packets を本商品からローカルルータに転送するようなルーティングテーブルの設定手順について説明します。



●設定方法

■本商品の設定

1



WBC V110M

かんたん設定

▼ ルータ設定

ネットワーク設定

PPPoE設定

DHCP設定

NAPT設定

IPフィルタ設定

ルーティングテーブル設定

ルーティング条件(セッション1)

ルーティング条件(セッション2)

ルーティング条件(セッション3)

ルーティング条件(セッション4)

ログ表示


保守

再起動

反映

「メニュー」から「ルータ設定」-「ルーティングテーブル設定」-「ルーティング条件(セッション1)」をクリックします。

2



ルーティング条件(セッション1) ヘルプ?

スタティックルーティング設定

宛先ネットワークアドレス/マスク長 192.168.10.0 / 24

ゲートウェイIPアドレス 192.168.1.3

追加 変更 削除

宛先ネットワークアドレス / マスク長	ゲートウェイIPアドレス
1. 192.168.10.0 / 24	192.168.1.3

確認 送信

- ①「宛先ネットワークアドレス」は「192.168.10.0」を入力し、「マスク長」は「24」を入力します。
- ②「ゲートウェイIPアドレス」は「192.168.1.3」を入力します。
- ③「追加」をクリックします。
- ④一覧に追加した情報が登録されているかどうか確認します。
- ⑤「確認」をクリックします。
- ⑥「送信」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3

反映

「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。



ワンポイント

- 「スタットィングルーティング設定」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（●P1-16）

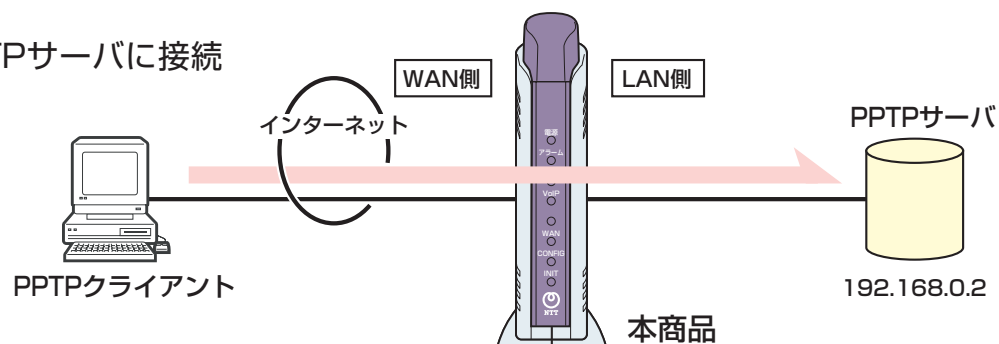
VPNパススルー設定

LAN側のプライベートIPアドレスを持つVPNクライアントの packets をWAN側へ通過させ、WAN側を経由してもう一方のLAN側のプライベートIPアドレスをもつサーバへアクセスすることができます。

WAN側から通信を開始したい場合に、本設定を行ってください。(利用例1の場合)

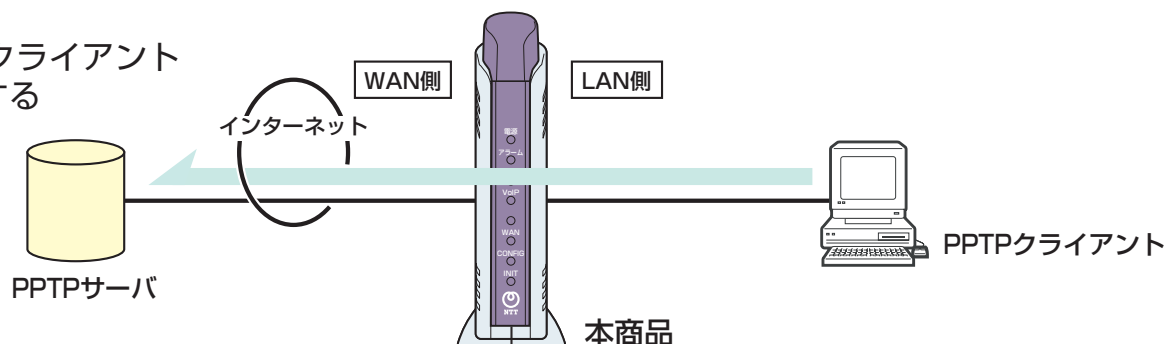
[利用例1]

本商品に接続したPPTPサーバに接続する



[利用例2]

本商品に接続したPPTPクライアントからPPTPサーバに接続する



お知らせ

- LAN側から通信を開始する場合、VPNパススルーの設定を行う必要はありません。
- VPNパススルー設定を利用する場合は、1つのサーバに対して複数のセッションの通信はできません。

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」-「VPNパススルー設定」をクリックします。

2

①「有効」を選択します。

②「LAN側IPアドレス」を入力します。
※「空欄」の場合は、サーバ公開機能は無効になります。

③「すべて」を選択します。
※「すべて」を選択した場合は、すべてのWAN側アドレスを有効にします。

④「確認」をクリックします。

⑤「送信」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3



「反映」をクリックします。
システム更新後、「かんたん設定」画面を表示します。
設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

表紙

マニュアルの
見かた1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

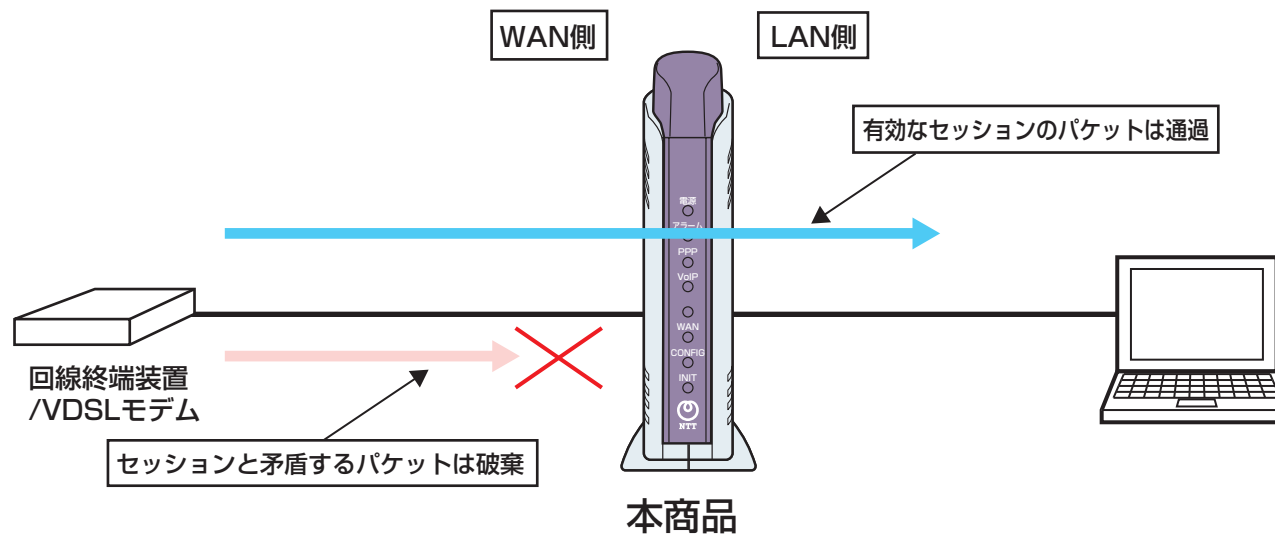
3 付録

目次

用語集

■ 外部からの不正アクセスを防止するには（SPI機能）

本商品は、通過するパケットのデータを読み取り、内容を判断して動的にポートを開放、閉鎖するステートフルパケットインスペクション（SPI）機能を備えています。セッション状態を判定して制御を行うので、IPフィルタ設定では防ぐことのできない不正アクセスにも対応でき、情報セキュリティ対策として有効です。

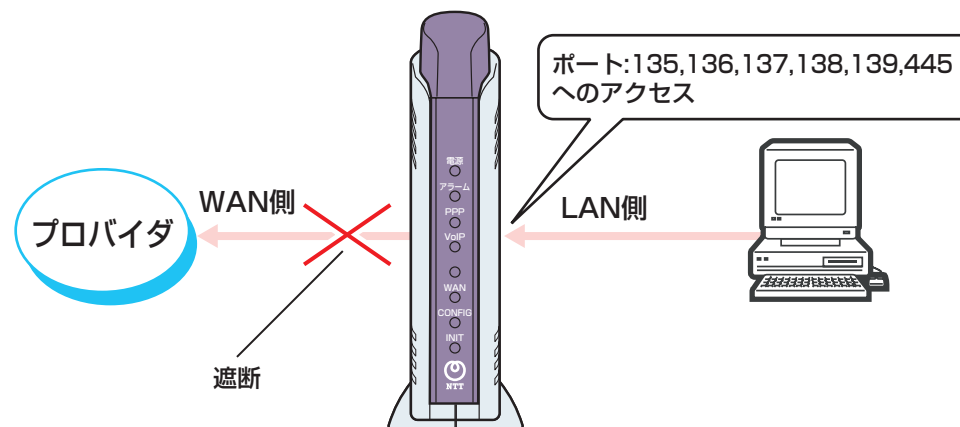


ワンポイント

- SPI機能に関する本商品の設定は必要ありません。

■ Windows共有フィルタを設定するには

本商品のWindows共有フィルタ機能を使用することによって、外部とのWindows 共有関係（NetBIOS）のトラフィックを遮断することができ不必要な情報の流出を防止することができます。



● 設定方法

■ 本商品の設定

1

WBC V110M

かんたん設定

▼ ルータ設定

ネットワーク設定

PPPoE設定

DHCP設定

NAPT設定

IPフィルタ設定

ルーティングテーブル設定

・ルーティング条件(セッション1)

・ルーティング条件(セッション2)

VPN/スルースー設定

Windows共有フィルタ/ステルス設定

再起動

反映

「メニュー」から「ルータ設定」－「Windows共有フィルタ/ステルス設定」をクリックします。

2

ヘルプ?

Windows共有フィルタ	有効
ステルスモード設定	
TCPステルスモード	有効
UDPステルスモード	有効
ICMPステルスモード	無効

確認

送信

①「Windows共有フィルタ」のプルダウンメニューから「有効」を選択します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

3 付録

3



「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定
した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。



ワンポイント

- Windows共有フィルタの設定は初期設定状態で「有効」になっています。

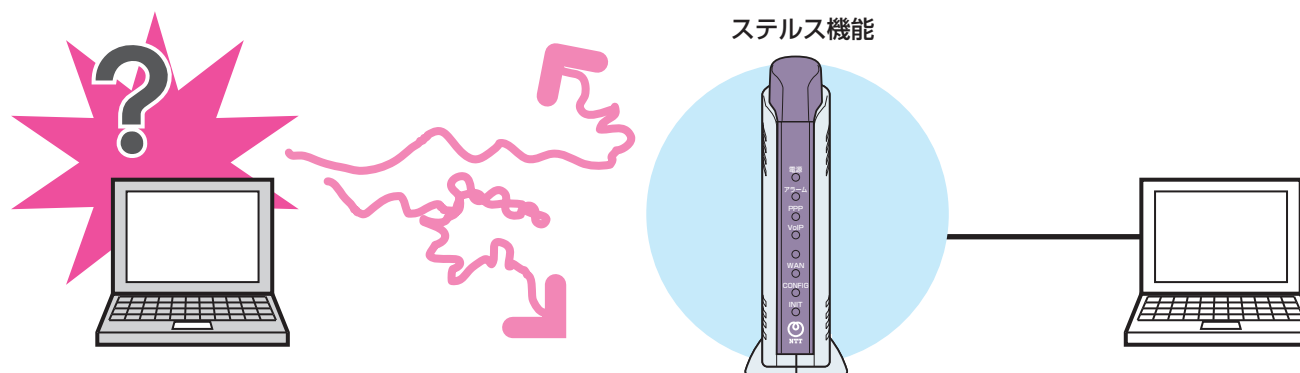
■ ステルス機能を設定するには

ステルス機能を設定することによってWAN側からの不正なアクセスを防止することができます。以下の機能を制御可能です。

TCPステルス機能…… 開いていないポートに対して装置へ送出されたTCPセッション開始パケットに対してRSTパケットを送出しません。

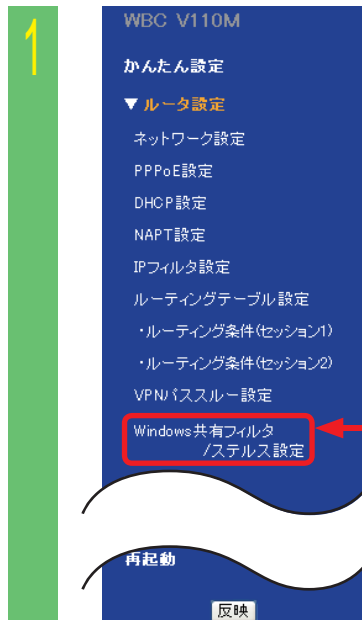
UDPステルス機能…… 開いていないポートに対してWAN側から送出されたUDPパケットに対して返信されるICMP port unreachableパケットを破棄します。

ICMPステルス機能…… WAN側から本商品に向けられた不正なICMPパケットに応答しません。

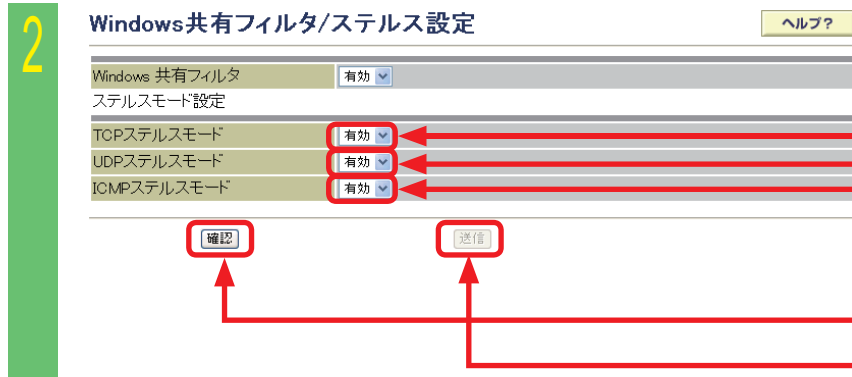


● 設定方法

■ 本商品の設定



「メニュー」から「ルータ設定」 - 「Windows共有フィルタ/ステルス設定」をクリックします。



- ①「有効」を選択します。
- ②「有効」を選択します。
- ③「有効」を選択します。

- ④「確認」をクリックします。
- ⑤「送信」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3



「反映」をクリックします。
システム更新後、「かんたん設定」画面を表示します。
設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

表紙

マニュアルの
見かた1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

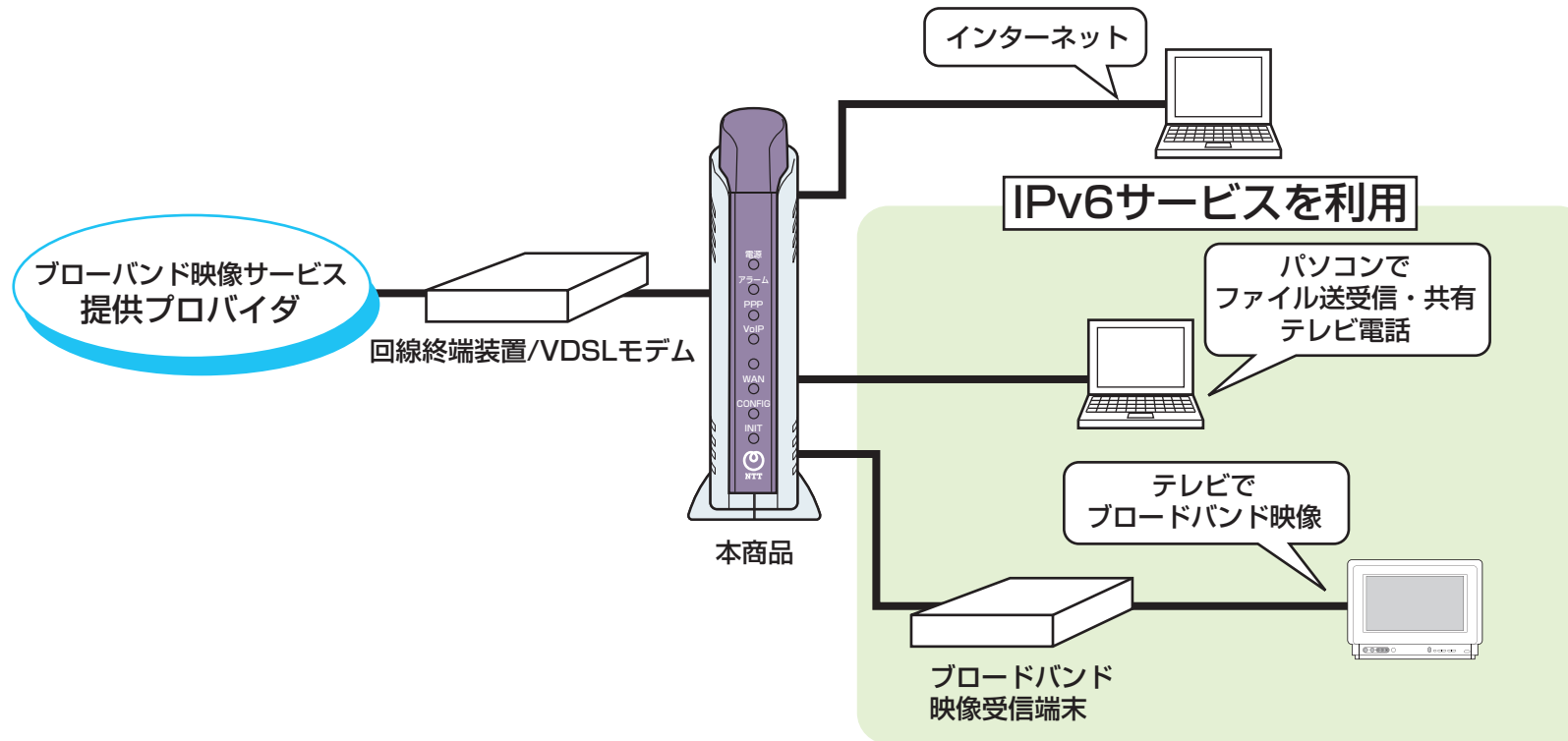
3 付録

目次

用語集

■ IPv6サービスを利用するには

通常のインターネット接続と同時にフレッツ・ドットネットなどのIPv6によるサービスを利用することができます。



事前に以下の用意をします。

- ① サービスへの申し込みをします。
- ② IPv6クライアントの通信装置（ブロードバンド映像受信装置、パソコンなど）を準備します。

●設定方法

■本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」－「ネットワーク設定」をクリックします。

2

ネットワーク設定

ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長 192.168.1.1 / 24

PPPoEブリッジ設定

PPPoEブリッジ設定 有効

IPv6ブリッジ設定

IPv6ブリッジ設定 有線LANのみ有効

NTPサーバ設定

NTPサーバ IP アドレス

ポート設定

WAN ポート設定 自動認識

LAN 1 ポート設定 自動認識

LAN 2 ポート設定 自動認識

LAN 3 ポート設定 自動認識

LAN 4 ポート設定 自動認識

LAN側 MDI/MDI-X モード設定

MDI/MDI-X設定 MDI-X固定

確認

送信

①「有効」を選択すると、本商品と接続した機器でもIPv6サービスを利用できるようになります。LAN側ポートにLANケーブルで接続した機器のみでIPv6サービスを利用する場合は、「有線LANのみ有効」を選択します。

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3



「反映」をクリックします。
システム更新後、「かんたん設定」画面を表示します。設定
した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。
IPv6サービスをお楽しみください。

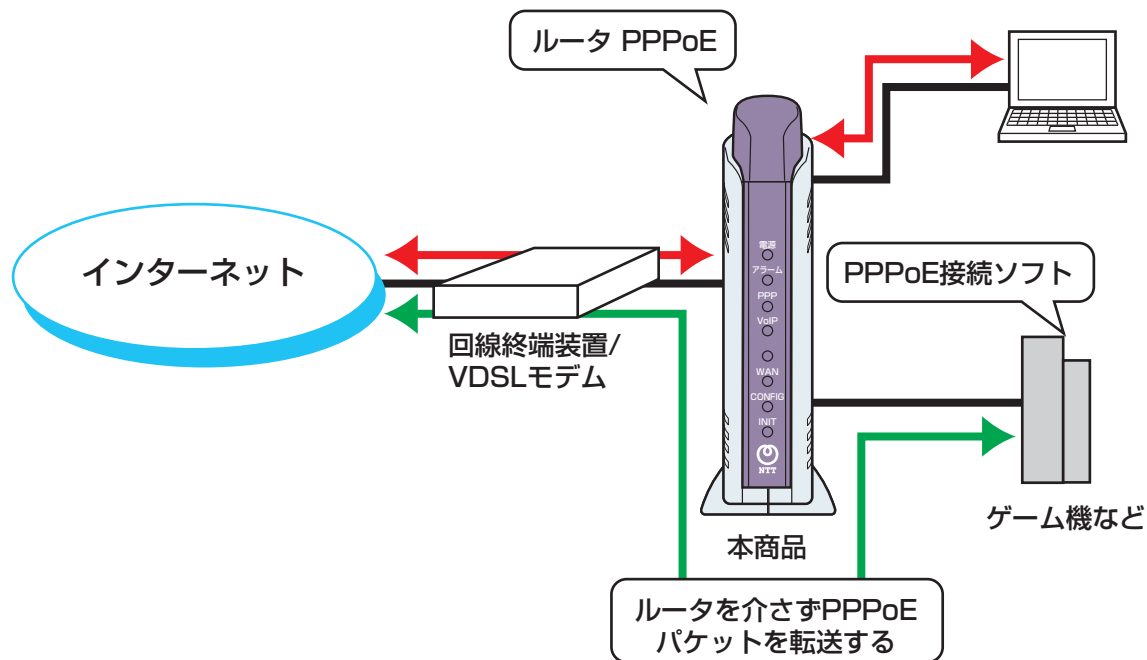


ワンポイント

- PPPoEセッション1/セッション2が接続中でも使用できます。
- IPv6の各サービスの詳細については、ホームページなどをご確認ください。

■ PPPoEフレームをブリッジするには

フレッツ・コネクトやフレッツ・コミュニケーションなどのサービスを利用するときに使用します。WANとLANインタフェース間でPPPoEフレームをブリッジすることで、LAN側に接続されているパソコンからPPPoEを利用して、インターネットに接続できるようにする機能です。



● 設定方法

■ 本商品の設定

1

「メニュー」から「ルータ設定」 - 「ネットワーク設定」をクリックします。

2

ネットワーク設定

ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長 192.168.1.1 / 24

PPPoEブリッジ設定

PPPoEブリッジ設定 **有効** ▼ ← ①「有効」を選択します。

IPv6ブリッジ設定

IPv6ブリッジ設定 有線LANのみ有効 ▼

NTPサーバ設定

NTPサーバ IP アドレス

ポート設定

WAN ポート設定 自動認識 ▼

LAN 1 ポート設定 自動認識 ▼

LAN 2 ポート設定 自動認識 ▼

LAN 3 ポート設定 自動認識 ▼

LAN 4 ポート設定 自動認識 ▼

LAN側 MDI/MDI-X モード設定

MDI/MDI-X設定 MDI-X固定 ▼

確認 ← ②「確認」をクリックします。

送信 ← ③「送信」をクリックします。

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

3

反映

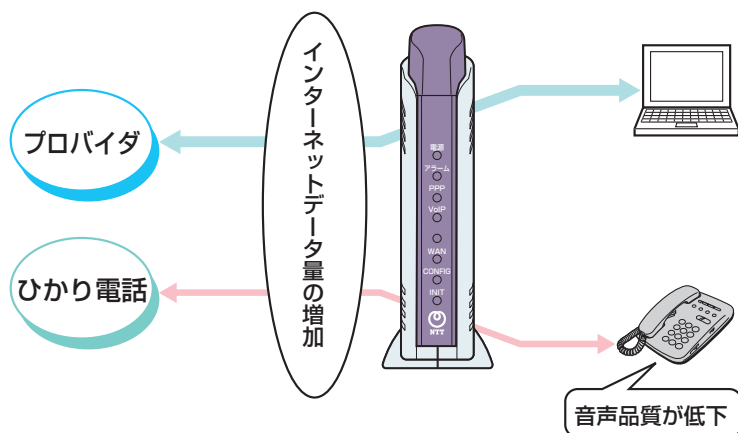
「反映」をクリックします。
システム更新後、「かんたん設定」画面を表示します。設定
した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

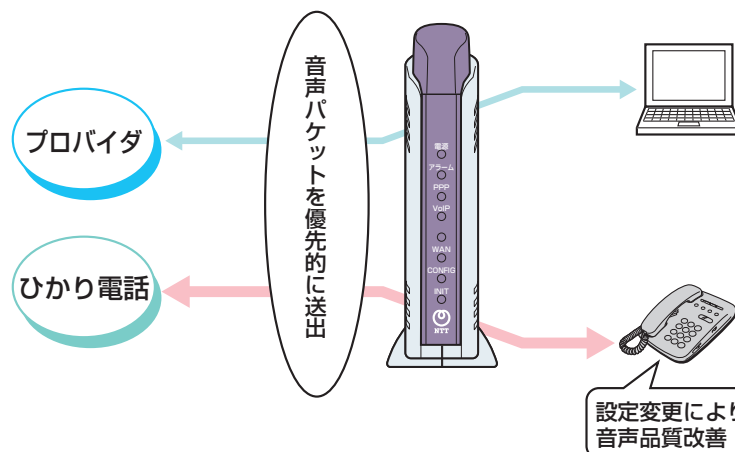
■ ひかり電話の音声劣化が気になったときには

インターネットとひかり電話を同時にご使用の場合に、インターネットで使用しているデータ量が増えると音声品質が低下することがあります。
このような場合は、本商品の音質優先モード設定を変更することにより、音声品質を改善します。

音質優先モード「無」に設定されている場合



音質優先モード「優先/最優先」に設定されている場合



● 設定方法

■ 本商品の設定



「メニュー」から「電話設定」をクリックします。

2

電話設定

ヘルプ?

電話サービス

音質優先モード

最優先

①「優先」または「最優先」を選択します。

割り込み音

あり

確認

送信

②「確認」をクリックします。

③「送信」をクリックします。

3

反映

「反映」をクリックします。

システム更新後、「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

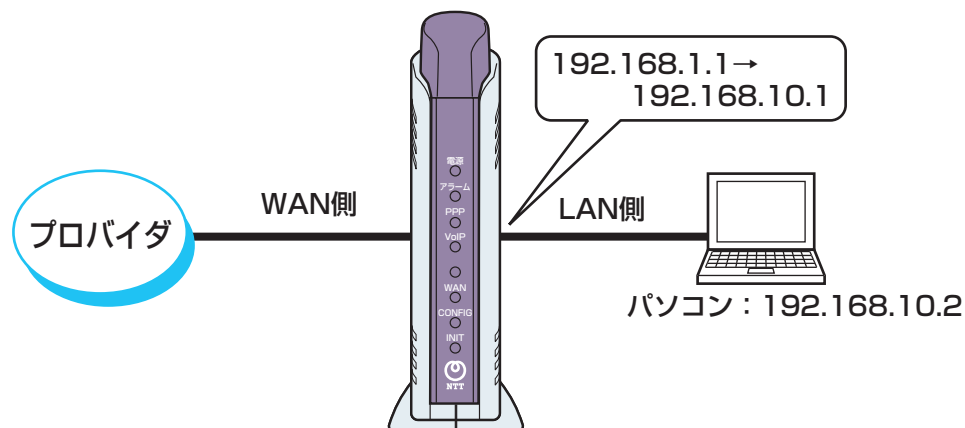
お知らせ

- 音質優先モードは通話中のみ機能します。
- 音質優先モードを設定すると、インターネット接続の速度が低下する場合があります。音声品質とインターネットの接続状況を確認しながら適切なモードに調整してください。

LAN側のIPアドレスを変更するには

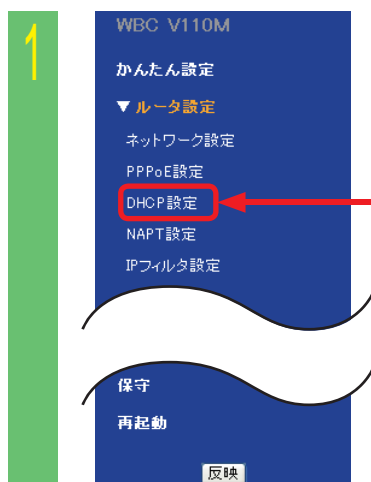
本商品のLAN側IPアドレスの変更を行います。
本商品の「DHCP設定」の「LAN側ネットワーク設定」で変更することができます。

ここではIPアドレスを「192.168.1.1」から「192.168.10.1」に変更する場合を例に説明します。



● 設定方法

■ 本商品の設定



「メニュー」から「ルータ設定」 - 「DHCP設定」をクリックします。

2

DHCP設定 ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長 /

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能

割り当て開始 IPアドレス

割り当て終了 IPアドレス

DNS サーバアドレス

固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

IPアドレス

MACアドレス

IPアドレス	MACアドレス

① 「LAN側IPアドレス/マスク長」を入力します。
(例) 192.168.10.1/24

② 「有効」を選択します。

③ 「割り当て開始IPアドレス」を入力します。
(例) 192.168.10.2

④ 「割り当て終了IPアドレス」を入力します。
(例) 192.168.10.10

⑤ 「DNSサーバアドレス」を入力します。
(例) 192.168.10.1

⑥ 「確認」をクリックします。

⑦ 「送信」をクリックします。

3



「反映」をクリックします。
システム更新後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。

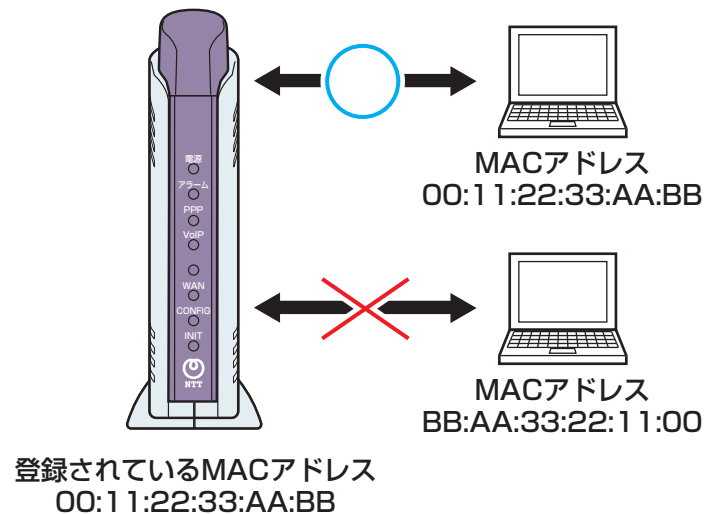


ワンポイント

- LAN側IPアドレスの設定時にIPアドレスの重複を知らせるエラーメッセージが表示された場合は、LAN側IPアドレスを別のIPアドレスに変更してください。

■ 無線LANクライアントからの通信を制限するには (MACアドレスフィルタリング)

無線LANクライアント（パソコンなど）からの通信を制限することができます。
通信機器は固有の番号として「MACアドレス」を持っています。
MACアドレスを本商品（無線LANアクセスポイント）へ登録することにより、未登録の通信機器からのLAN接続やインターネット接続を制限します。



● 設定方法

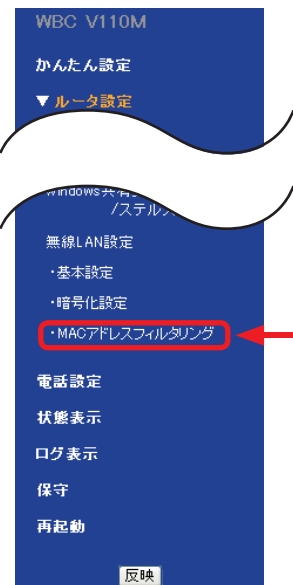
■ 本商品の設定

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

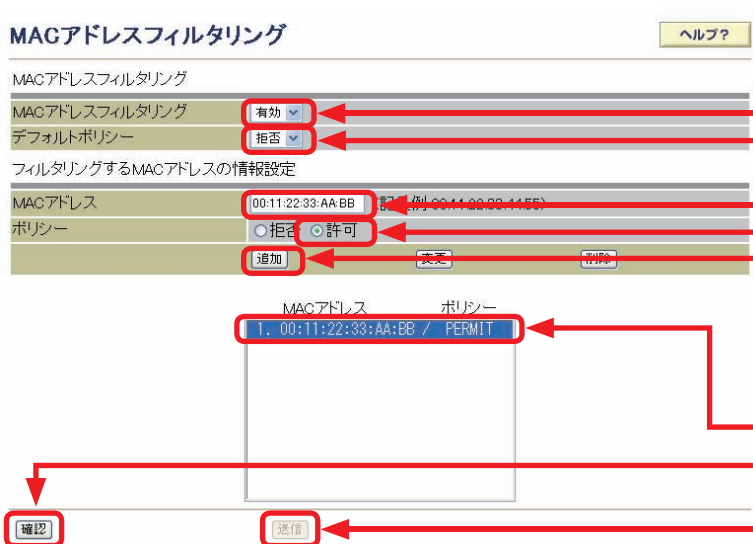
3 付録

1



「メニュー」から「ルータ設定」－「無線LAN設定」－「MACアドレスフィルタリング」をクリックします。

2



①「有効」を選択します。

②「拒否」を選択します。

③ 事前に調べた「MACアドレス」を入力します。
※「MACアドレスの確認方法」(P1-73)を参照してください。

④「許可」を選択します。

⑤「追加」をクリックします。

⑥ 一覧に入力したデータが表示されているか確認します。

⑦「確認」をクリックします。

⑧「送信」をクリックします。

3



「反映」をクリックします。
システム更新後、「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。
未登録の通信機器からのLAN接続やインターネット接続ができなくなります。

ワンポイント

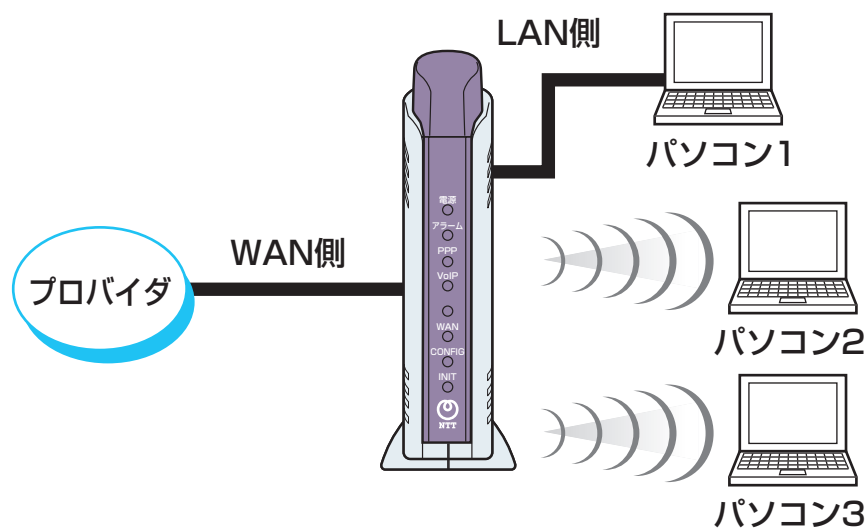
- MACアドレスは32個登録できます。
- 「デフォルトポリシー」を「許可」、「ポリシー」を「拒否」に設定することで、MACアドレスを登録した通信機器だけ拒否することも可能です。
- 「MACアドレスフィルタリング」の「変更」「削除」については「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。（●P1-16）

お知らせ

- 「デフォルトポリシー」を「拒否」に設定した状態において、新しいパソコンなど購入した場合など、そのままでは無線LANを利用することができません。必ずMACアドレスの登録が必要です。

■ 複数のパソコンを接続するには

DHCPサーバ機能によりIPアドレスなどのネットワークに必要な情報を自動的に割り当てることができます。これにより、各パソコンでネットワークの詳細の設定を行わなくてもインターネット接続などができます。ただし、毎回同じ情報が割り当てられるとは限らないため、サーバ公開などを考慮して、端末に常に同じネットワーク情報を割り当てることができます。



● 設定方法


■ 本商品の設定

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

1



「メニュー」から「ルータ設定」 - 「DHCP設定」をクリックします。

2 (例1) パソコンのIPアドレスを「192.168.1.2~10」の間で収容する場合

DHCP設定 ヘルプ?

LAN側ネットワーク設定

LAN側 IPアドレス/マスク長 / ①「LAN側IPアドレス/マスク長」を入力します。

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能 ②「有効」を選択します。

割り当て開始 IPアドレス ③「割り当て開始IPアドレス」を入力します。(取扱説明書「パソコンを設定する」参照)
(例) 192.168.1.2

割り当て終了 IPアドレス ④「割り当て終了IPアドレス」を入力します。(取扱説明書「パソコンを設定する」参照)
(例) 192.168.1.10

DNS サーバアドレス ⑤「DNSサーバアドレス」を入力します。(本商品のLAN側IPアドレスを推奨します。)
(例) 192.168.1.1

固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

IPアドレス	MACアドレス
<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑥「確認」をクリックします。

⑦「送信」をクリックします。

(例2) パソコンのIPアドレスを「192.168.1.2～10」の間で収容する場合
(192.168.1.10を固定IPアドレスとする場合)

「パソコンのアドレスを固定にするには (DHCPサーバ機能)」(P1-16)
を参照して設定してください。

3



「反映」をクリックします。
システム更新後、「かんたん設定」画面を表示します。設定
した内容が有効になります。

これで設定は終了しました。



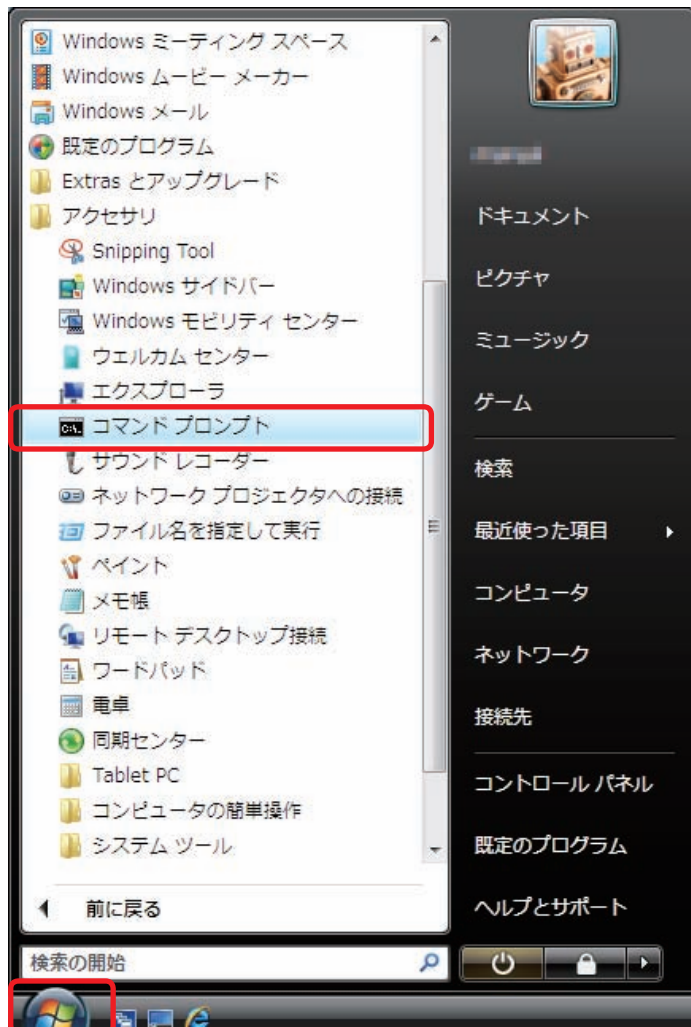
ワンポイント

●IPアドレスの固定設定は16種類まで登録できます。

■ MACアドレスの確認方法

MACアドレスを調べます。

- ↑ [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]をクリックします。



1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

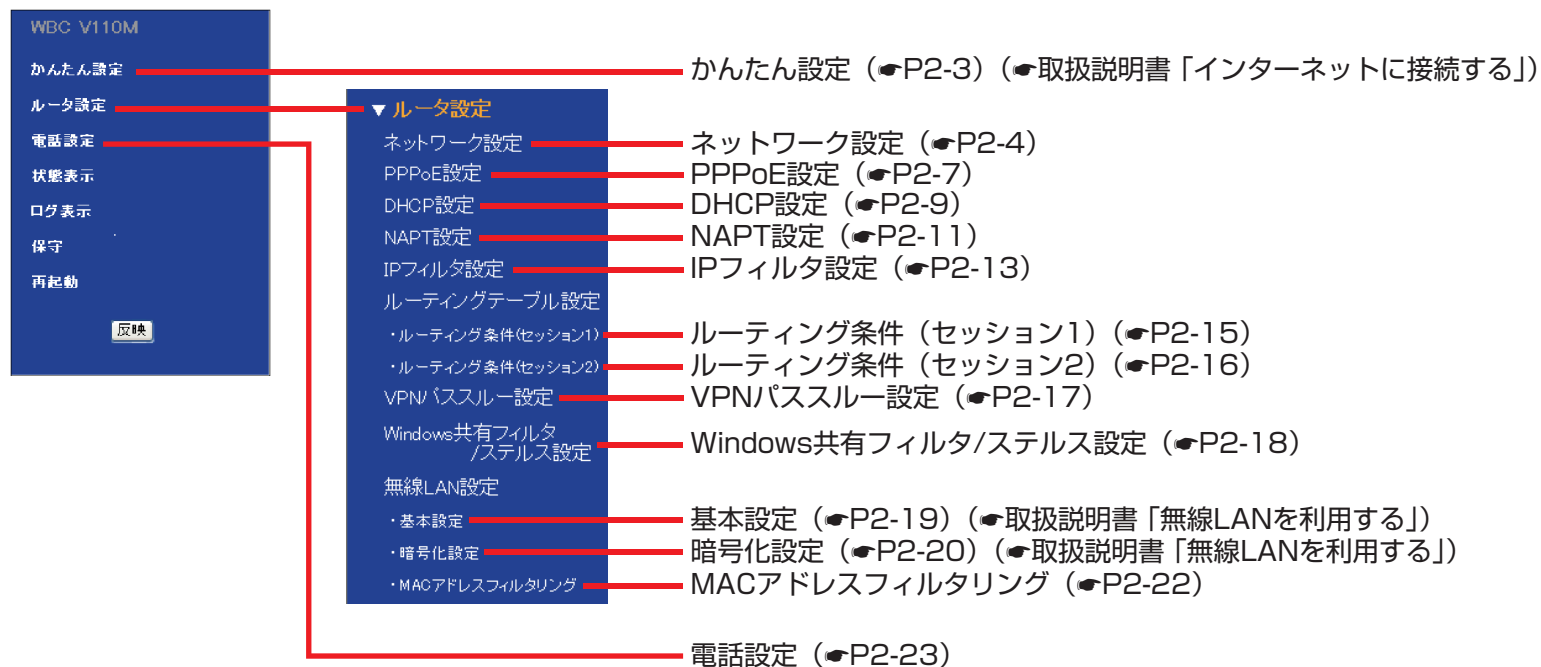
3 付録

第2章 本商品の設定画面

■ Webブラウザ設定一覧

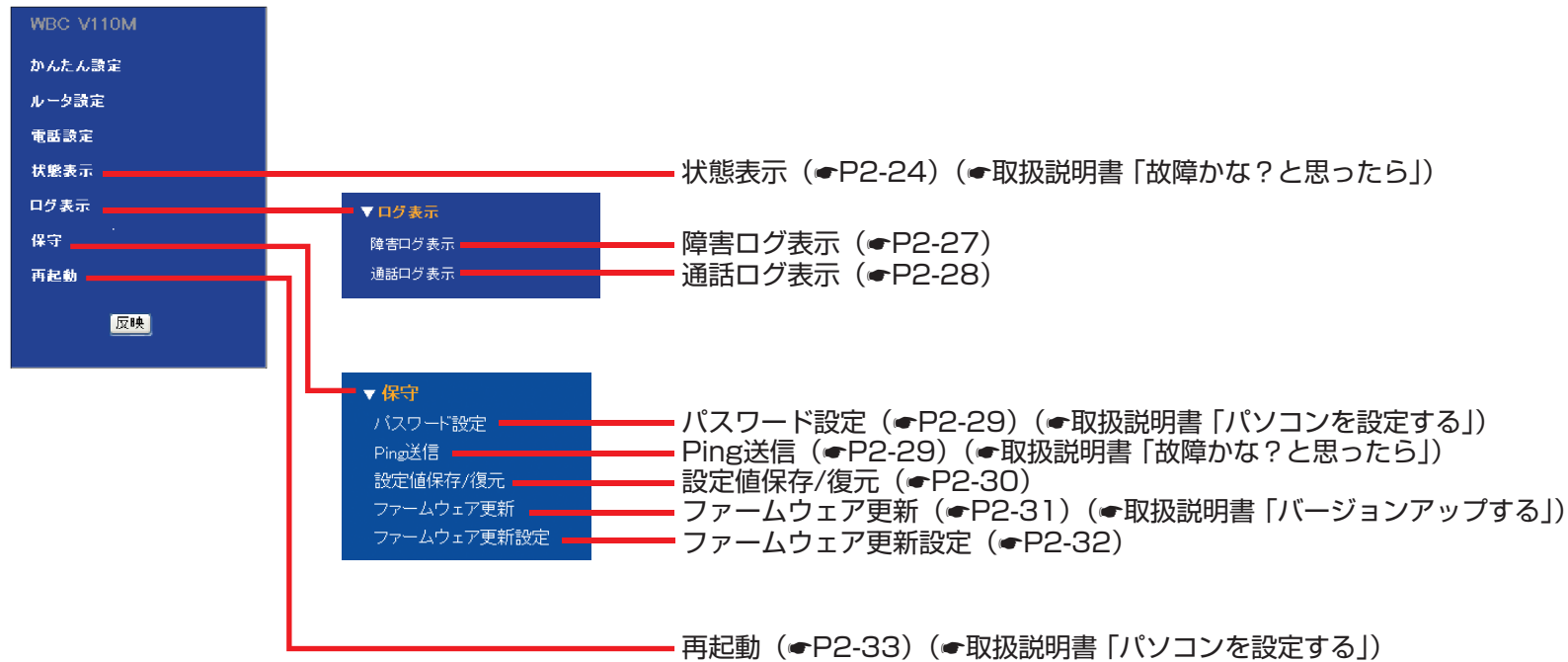
メインメニュー

サブメニュー



メインメニュー

サブメニュー



■ 設定項目説明

かんたん設定

項目	内容	初期値
インターネットサービスプロバイダ設定		
接続ユーザ名	「プロバイダの設定情報」に書かれている「接続ユーザ名」を設定します。	なし
接続パスワード／確認	「プロバイダの設定情報」に書かれている「接続パスワード」を設定します。確認のため、「接続パスワード確認」にも同じパスワードを設定します。	なし

ルータ設定：ネットワーク設定

項目	内容	初期値
LAN側ネットワーク設定		
LAN側IPアドレス	<p>本商品のLAN側 IPアドレスを半角数字で設定します。 入力可能文字：0～9、「.」（ドット） 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255 ただし、以下は除きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・127.0.0.0～127.255.255.255 ・「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例：IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」） <p>【注意】 通常は初期値のままで使用してください。 【注意】 ひかり電話で使用するIPアドレスと重複した場合は、別のIPアドレスを設定してください。</p>	192.168.1.1
LAN側マスク長	<p>本商品のLAN側 マスク長を半角数字で設定します。 設定範囲：「LAN側 IPアドレス」が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.0.0.0～126.255.255.255の場合：8～30 ・128.0.0.0～191.255.255.255の場合：16～30 ・192.0.0.0～223.255.255.255の場合：24～30 <p>【注意】 通常は初期値のままで使用してください。</p>	24
PPPoEブリッジ設定		
PPPoEブリッジ設定	<p>WANとLANインタフェース間でPPPoEフレームをブリッジします。 設定範囲：無効／有効</p>	有効
IPv6ブリッジ設定		
IPv6ブリッジ設定	<p>WANとLANインタフェース間でIPv6フレームをブリッジします。 設定範囲：無効／有効／有線LANのみ有効</p>	有線LANのみ有効

マニュアルの
見かた1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

3 付録

目次

用語集

項目	内容	初期値
NTP サーバ設定		
NTP サーバ IP アドレス	NTPサーバIP アドレスを 半角数字 で設定します。本商品の日時の情報はひかり電話から自動的に取得します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「. (ドット)」) 【注意】NTPサーバがネットワーク上に存在している必要があります。	なし
ポート設定		
WANポート設定	WAN側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重：10Mbpsの半二重通信	自動認識
LAN1ポート設定	LAN1側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重：10Mbpsの半二重通信	自動認識
LAN2ポート設定	LAN2側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重：10Mbpsの半二重通信	自動認識
LAN3ポート設定	LAN3側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重：10Mbpsの半二重通信	自動認識
LAN4ポート設定	LAN4側ETHERポートの通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」を使用してください。 設定範囲： ・自動認識：本商品がネゴシエーションを行い、自動で設定します ・100M全二重：100Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100Mbpsの半二重通信 ・10M全二重：10Mbpsの全二重通信 ・10M半二重：10Mbpsの半二重通信	自動認識

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

項目	内容	初期値
LAN側 MDI/MDI-Xモード設定		
MDI/MDI-X 設定	LAN側ETHERポートのMDI/MDI-Xモードを設定します。 MDIとMDI-Xの接続にはストレートケーブルを、MDI同士やMDI-X同士の接続にはクロスケーブルを使用します。 通常は「MDI-X固定」を使用してください。 設定範囲： ・ MDI-X固定：IP端末やパソコンと本商品をストレートケーブルで接続できるよう設定します。 ・ MDI固定：IP端末やパソコンと本商品をクロスケーブルで接続できるよう設定します。 ・ 自動設定：IP端末やパソコンと本商品をストレートケーブル、クロスケーブルどちらも接続できるよう自動設定します。	MDI-X固定

ルータ設定 : PPPoE設定

PPPoE設定

ヘルプ?

接続先設定

	接続先1	接続先2	接続先3	接続先4	接続先5	接続しない
セッション1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
セッション2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ルーティング条件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

接続先1

接続ユーザ名

接続パスワード

接続パスワード確認

認証方式 認証なし PAP CHAP PAP+CHAP

接続モード 常時接続 自動切断までの時間 0 秒

DNSサーバアドレス プライマリ セカンダリ

MTU値 1452

IP アドレス指定 指定しない 指定する (unnumbered 接続)
IP アドレス / マスク長 /

接続先2

接続ユーザ名

接続パスワード

接続パスワード確認

認証方式 認証なし PAP CHAP PAP+CHAP

接続モード 要求時接続 自動切断までの時間 1800 秒

DNSサーバアドレス プライマリ セカンダリ

MTU値 1452

IP アドレス指定 指定しない 指定する (unnumbered 接続)
IP アドレス / マスク長 /

接続先3

接続ユーザ名

接続パスワード

接続パスワード確認

認証方式 認証なし PAP CHAP PAP+CHAP

接続モード 要求時接続 自動切断までの時間 1800 秒

DNSサーバアドレス プライマリ セカンダリ

MTU値 1452

IP アドレス指定 指定しない 指定する (unnumbered 接続)
IP アドレス / マスク長 /

接続先4

接続ユーザ名

接続パスワード

接続パスワード確認

認証方式 認証なし PAP CHAP PAP+CHAP

接続モード 要求時接続 自動切断までの時間 1800 秒

DNSサーバアドレス プライマリ セカンダリ

MTU値 1452

IP アドレス指定 指定しない 指定する (unnumbered 接続)
IP アドレス / マスク長 /

項目	内容	初期値
接続先設定		
セッション1	PPPoEのセッション1で接続する接続先を指定します。 設定範囲：接続先1／接続先2／接続先3／接続先4／接続先5／接続しない	接続しない
セッション2	PPPoEのセッション2で接続する接続先を指定します。 セッション2の接続先設定・接続先情報の設定を行った場合は、「確認」「送信」をクリックしてから、「ルーティング条件」をクリックしてください。 「ルーティング条件」をクリックすると、ルーティングテーブル設定・ルーティング条件(セッション2)を表示します。 設定範囲：接続先1／接続先2／接続先3／接続先4／接続先5／接続しない	接続しない
接続先1～5		
接続ユーザ名	プロバイダより指定された接続ユーザ名を半角英数字で設定します。	なし
接続パスワード／確認	プロバイダより指定された接続パスワードを半角英数字で設定します。「接続パスワード確認」にも同じパスワードを設定します。	なし
認証方式	PPPoE接続の認証方式を設定します。PAP+CHAPを選択した場合、接続先と一致した方式を使用します。 設定範囲：認証なし／PAP(暗号化なし)／CHAP(暗号化あり)／PAP+CHAP	PAP+CHAP
接続モード	PPPoEセッションを常時接続するか無通信状態が続いた場合にPPPoEセッションを切断するかを設定します。 設定範囲：常時接続／要求時接続 設定範囲(自動切断までの時間)：60～86400秒 常時接続：常時接続時、PPPoEセッション切断時には自動で再接続します。 要求時接続：「自動切断までの時間」に設定した時間だけ無通信状態が続くと、PPPoEセッションを切断します。	接続先1：常時接続 接続先2以降：要求時接続「自動切断までの時間」 1800秒

ルータ設定 : DHCP設定

項目	内容	初期値
LAN側ネットワーク設定		
LAN側 IP アドレス	<p>本商品のLAN側 IPアドレスを半角数字で設定します。 入力可能文字 : 0~9、[.] (ドット) 設定範囲 : 1.0.0.0~223.255.255.255 ただし、以下は除きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 127.0.0.0~127.255.255.255 ・ 「LAN側 マスク長」により無効になる範囲 (ホスト部) が0または最大値 (例 : IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」) <p>【注意】 通常は初期値のままで使用してください。 【注意】 ひかり電話で使用するIPアドレスと重複した場合は、別のIPアドレスを設定してください。</p>	192.168.1.1
LAN側 マスク長	<p>本商品のLAN側 マスク長を半角数字で設定します。 設定範囲 : 「LAN側 IPアドレス」が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.0.0.0~126.255.255.255の場合 : 8~30 ・ 128.0.0.0~191.255.255.255の場合 : 16~30 ・ 192.0.0.0~223.255.255.255の場合 : 24~30 <p>【注意】 通常は初期値のままで使用してください。</p>	24
DHCPサーバ設定		
DHCPサーバ機能	<p>本商品の配下 (LAN側) に接続される装置へIPアドレスを自動割り当てする機能です。 設定範囲 : 無効/有効</p>	有効

項目	内容	初期値
割り当て開始 IPアドレス	DHCPサーバ機能を有効にした場合、割り当てるアドレス範囲の開始IPアドレスを半角数字で設定します。 入力可能文字：0～9、「.」（ドット） 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255 ただし、以下は除きます。 ・ 127.0.0.0～127.255.255.255 ・ 「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例：IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」） 【注意】 IPアドレス割り当て範囲は、LAN側IPアドレスと同一のサブネットでLAN側IPアドレスが含まれない範囲で、253以内のIPアドレス数になるように指定してください。また、接続される機器数が割り当てるアドレス範囲を超えると、正常に接続ができなくなる場合がありますので、万が一割り当てるアドレス範囲を変更する場合には、接続される機器数以上の範囲を指定してください。	192.168.1.2
割り当て終了 IPアドレス	DHCPサーバ機能を有効にした場合、割り当てるアドレス範囲の終了IPアドレスを半角数字で設定します。 入力可能文字：0～9、「.」（ドット） 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255 ただし、以下は除きます。 ・ 127.0.0.0～127.255.255.255 ・ 「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例：IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」）	192.168.1.11
DNSサーバ アドレス	本商品の配下装置に通知するDNSサーバのIPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.」（ドット）) 【注意】 本商品のLAN側IPアドレスを推奨します。	192.168.1.1
固定IPアドレスで使用する端末の情報設定 固定IPアドレスで使用する端末の情報を16個登録することができます。		
IPアドレス	DHCPで固定のIPアドレスを割り当てる端末のIPアドレスを半角数字で設定します。 入力可能文字：0～9、「.」（ドット） 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255 ただし、以下は除きます。 ・ 127.0.0.0～127.255.255.255 ・ 「LAN側 マスク長」により無効になる範囲（ホスト部）が0または最大値 （例：IPアドレス「192.168.127.0」でマスク長「24」、IPアドレス「10.255.255.255」でマスク長「8」）	なし
MAC アドレス	DHCPで固定のIPアドレスを割り当てる端末のMACアドレスを半角英数字で設定します。 MACアドレスは「ipconfig /all」などのネットワーク状況を確認するコマンドを入力したときに「Physical Address」として表示されます。 設定範囲：00:00:00:00:00:01～FF:FF:FF:FF:FF:FF(0～9、A～F、「:」（コロン）)	なし

ルータ設定 :NAPT設定

項目	内容	初期値								
動的NAPT機能	本商品の動的NAPT機能の無効/有効を設定します。一つのグローバルアドレスを複数のクライアント装置に割り振る際に使用するポート番号は自動的に決定されます。 設定範囲：無効/有効	有効								
簡易DMZ IPアドレス	グローバル側からのアクセスを特定の端末へすべて転送する機能です。 転送先IPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1~255.255.255.255(0~9、「. (ドット)」)	なし								
UPnP設定										
UPnP機能	本商品のUPnP機能の無効/有効を設定します。 設定範囲：無効/セッション1 有効/セッション2 有効	セッション1 有効								
静的NAPT設定 (ポート転送規則) 静的NAPT機能を適用するポート転送規則を、最大32パターン登録することができます。 【注意】一覧の上に表示されるもの程、優先度が高くなります。										
設定例	<p>■FTPサーバの公開 公開したいFTPサーバのアドレスが下記の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> - IPアドレス 192.168.1.20 - サブネットマスク 255.255.255.0 <table border="1"> <tr> <td>割り当て WAN 側受信ポート範囲</td> <td>20 ~ 21</td> </tr> <tr> <td>プロトコル種別</td> <td>TCP</td> </tr> <tr> <td>LAN 側転送 IP アドレス</td> <td>192.168.1.20</td> </tr> <tr> <td>LAN 側転送ポート</td> <td>20</td> </tr> </table>	割り当て WAN 側受信ポート範囲	20 ~ 21	プロトコル種別	TCP	LAN 側転送 IP アドレス	192.168.1.20	LAN 側転送ポート	20	—
割り当て WAN 側受信ポート範囲	20 ~ 21									
プロトコル種別	TCP									
LAN 側転送 IP アドレス	192.168.1.20									
LAN 側転送ポート	20									

項目	内容	初期値								
設定例	<p>■Webサーバの公開 公開したいWebサーバのアドレスが下記の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> - IPアドレス 192.168.1.30 - サブネットマスク 255.255.255.0 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>割り当て WAN 側受信ポート範囲</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>プロトコル種別</td> <td>TCP</td> </tr> <tr> <td>LAN 側 転送 IP アドレス</td> <td>192.168.1.30</td> </tr> <tr> <td>LAN 側 転送ポート</td> <td>80</td> </tr> </table>	割り当て WAN 側受信ポート範囲	80	プロトコル種別	TCP	LAN 側 転送 IP アドレス	192.168.1.30	LAN 側 転送ポート	80	—
割り当て WAN 側受信ポート範囲	80									
プロトコル種別	TCP									
LAN 側 転送 IP アドレス	192.168.1.30									
LAN 側 転送ポート	80									
割り当てWAN側受信ポート範囲	転送するWAN側ポート番号を半角数字で設定します。対象ポートが1つの場合は、開始ポートのみ入力設定できます。ポート範囲は16以内です。 設定範囲：1～65535	なし								
プロトコル種別	転送するプロトコルを設定します。 設定範囲：TCP/UDP	なし								
LAN側 転送 IP アドレス	転送するIPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「. (ドット)」)	なし								
LAN側 転送ポート	転送するLAN側ポート番号を半角数字で設定します。 設定範囲：1～65535	なし								

ルータ設定 : IPフィルタ設定

項目	内容	初期値														
デフォルトの規則	パケットフィルタ規則で指定しないIPアドレス、ポート番号からのアクセスに対して許可／破棄を指定します。 設定範囲：許可／破棄	許可														
パケットフィルタ規則 受信パケットのフィルタルールを最大64パターン登録することができます。 【注意】 フィルタは一覧の上に表示されるもの程、優先度が高くなります。																
設定例	■特定のパソコンからのWebアクセス禁止 下記のアドレスからのWebアクセスを禁止する場合 - IPアドレス 192.168.1.10 - サブネットマスク 255.255.255.0 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr><td>方針</td><td>破棄</td></tr> <tr><td>プロトコル種別</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>入力インタフェース</td><td>LAN</td></tr> <tr><td>出力インタフェース</td><td>全て</td></tr> <tr><td>送信元 IP アドレス / マスク長</td><td>192.168.1.10/32</td></tr> <tr><td>送信先 IP アドレス / マスク長</td><td>全て</td></tr> <tr><td>送信先ポート番号</td><td>80</td></tr> </table>	方針	破棄	プロトコル種別	TCP	入力インタフェース	LAN	出力インタフェース	全て	送信元 IP アドレス / マスク長	192.168.1.10/32	送信先 IP アドレス / マスク長	全て	送信先ポート番号	80	—
方針	破棄															
プロトコル種別	TCP															
入力インタフェース	LAN															
出力インタフェース	全て															
送信元 IP アドレス / マスク長	192.168.1.10/32															
送信先 IP アドレス / マスク長	全て															
送信先ポート番号	80															
方針 (POLICY)	受信パケットのフィルタルールを設定します。 設定範囲：許可／破棄 【注意】 本商品に対するひかり電話、Web設定機能、遠隔保守機能によるアクセスは規制されません。	—														
プロトコル種別 (PROTOCOL)	フィルタリングするパケットのプロトコルを設定します。 設定範囲：全て／TCP／UDP／ICMP	—														

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

項目	内容	初期値
入カインタフェース (IN)	フィルタリングする入カインタフェースを設定します。 設定範囲：全て／WAN／LAN／セッション1／セッション2	—
出カインタフェース (OUT)	フィルタリングする出カインタフェースを設定します。 設定範囲：全て／WAN／LAN／セッション1／セッション2	—
送信元IPアドレス/マスク長 (SOURCEIP/MASK)	フィルタリングするパケットの送信元IPアドレスとマスク長を半角数字で設定します。 設定範囲：全て／指定：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「. (ドット)」)／1～32	—
送信先IPアドレス/マスク長 (DESTINATIONIP/MASK)	フィルタリングするパケットの送信先IPアドレスとマスク長を半角数字で設定します。 設定範囲：全て／指定：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「. (ドット)」)／1～32	—
送信先ポート番号 (PORT)	フィルタリングするパケットの送信先ポート番号を半角数字で設定します。 設定範囲：全て／指定：1～65535	—

ルータ設定：ルーティングテーブル設定

ルーティング条件(セッション1) ヘルプ?

スタティックルーティング設定

宛先ネットワークアドレス/マスク長 /

ゲートウェイIPアドレス

追加 変更 削除

宛先ネットワークアドレス / マスク長 / ゲートウェイIPアドレス

確認 送信

ルーティング条件(セッション1)

宛先ネットワークアドレス毎のルーティング経路を、最大24パターン登録することができます。

項目	内容	初期値
スタティックルーティング設定		
宛先ネットワークアドレス/マスク長	宛先ネットワークアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲 : 0.0.0.1~255.255.255.255 (0~9、[. (ドット)]) / 1~32	なし/なし
ゲートウェイIPアドレス	指定したい経路の宛先ルータIPアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲 : 0.0.0.1~255.255.255.255 (0~9、[. (ドット)]) 【注意】 LAN側ネットワーク内のゲートウェイIPアドレスを設定して下さい。 もし、WAN側IPアドレスが設定された場合は、設定されたIPアドレスに関係なく、デフォルトゲートウェイにルーティングされます。	なし

ルーティング条件(セッション2) ヘルプ?

追加するドメイン名

ドメイン名

追加する宛先ネットワークアドレス/マスク長 /

宛先ネットワークアドレス / マスク長

ルーティング条件（セッション2）

セッション2に割り当てるルーティング経路を、最大16パターン登録することができます。

項目	内容	初期値
追加するドメイン名	セッション2に割り当てるドメイン名を半角英数字で設定します。 設定範囲：半角英数字「.」「-」（63文字以内） 【注意】先頭、末尾、ドットの前後には「.」「-」は設定できません。	なし
追加する宛先ネットワークアドレス/マスク長	セッション2に割り当てる宛先ネットワークアドレスを半角数字で設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.（ドット）」)/1～32	なし/なし

ルータ設定：VPNパススルー設定

VPNパススルー設定 ヘルプ?

PPTPパススルー設定(サーバ公開)

WANからLANへのアクセス 無効 有効

LAN側IPアドレス

WAN側IPアドレス すべて 指定

IPsecパススルー設定(サーバ公開)

WANからLANへのアクセス 無効 有効

LAN側IPアドレス

WAN側IPアドレス すべて 指定

L2TPパススルー設定(サーバ公開)

WANからLANへのアクセス 無効 有効

LAN側IPアドレス

WAN側IPアドレス すべて 指定

【注意】 本商品は、LAN側から発生するVPN通信の監視を行い、その通信の情報を元にWAN側からの通信を自動的にLAN側へ転送します。このため、LAN側から通信を開始する場合、VPNパススルーの設定を行う必要はありません。WAN側から通信を開始したい場合に、本設定を行ってください。

項目	内容	初期値
PPTPパススルー設定 (サーバ公開)		
WANからLANへのアクセス	WAN側からLAN側へPPTPパススルーによるアクセスを許可するかどうかを設定します。 設定範囲：無効／有効	無効
LAN側IPアドレス	アクセスを許可するLAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲： 0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.」(ドット))	なし
WAN側IPアドレス	アクセスを許可するWAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲： すべて／指定：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.」(ドット))	すべて
IPsecパススルー設定 (サーバ公開)		
WANからLANへのアクセス	WAN側からLAN側へIPsecパススルーによるアクセスを許可するかどうかを設定します。 設定範囲：無効／有効	無効
LAN側IPアドレス	アクセスを許可するLAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.」(ドット))	なし
WAN側IPアドレス	アクセスを許可するWAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：すべて／指定：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.」(ドット))	すべて
L2TPパススルー設定 (サーバ公開)		
WANからLANへのアクセス	WAN側からLAN側へL2TPパススルーによるアクセスを許可するかどうかを設定します。 設定範囲：無効／有効	無効
LAN側IPアドレス	アクセスを許可するLAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.」(ドット))	なし
WAN側IPアドレス	アクセスを許可するWAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：すべて／指定：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.」(ドット))	すべて

ルータ設定 : Windows共有フィルタ/ステルス設定

Windows共有フィルタ/ステルス設定 ヘルプ?

Windows 共有フィルタ	有効
ステルスモード設定	
TCPステルスモード	有効
UDPステルスモード	有効
ICMPステルスモード	無効

項目	内容	初期値
Windows 共有フィルタ	外部とのWindows共有関係 (Net BIOS) のトラフィックを遮断する設定です。 設定範囲：無効/有効	有効
ステルスモード設定		
TCPステルスモード	各プロトコルにおける本商品へのアクセスに応答するかを設定します。「有効」にすると応答しません。 設定範囲：無効/有効	有効
UDPステルスモード		有効
ICMPステルスモード		無効

ルータ設定：無線LAN設定－基本設定

基本設定 ヘルプ?

無線動作モード	11b+g
無線ネットワーク名(SSID)	V110M-01234D
無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽 (ANY接続拒否)	有効
送信パワー設定	100 %
無線チャンネル	
11b+g/11g	13 チャンネル
11a	46 チャンネル
速度設定	
11b+g	auto Mbps
11g	auto Mbps
11a	auto Mbps

確認 送信

項目	内容	初期値
無線動作モード	無線LANの種別を設定します。 「11b+g」:IEEE802.11b&IEEE802.11g 「11g」:IEEE802.11g 「11a」:IEEE802.11a 設定範囲:11b+g/11g/11a	11b+g
無線ネットワーク名(SSID)	無線ネットワーク名(SSID)を設定します。 設定範囲:1~32文字以内 半角英数字および記号(「空白」「;(セミコロン)」「(ダブルクォーテーション)」を除く)	[V110M-] + 「WAN側MACアドレスの下位3バイト」 (例)V110M-012345
無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)	無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)を設定します。 この機能を「有効」に設定することにより、他のパソコンや無線LANクライアントからのネットワーク名の参照(検索)に応答しないようになります。 設定範囲:有効/無効	有効
送信パワー設定	送信パワーを設定します。 設定範囲:100/50/25(%)	100(%)
無線チャンネル		
11b+g/11g	無線動作モードが「11b+g」または「11g」の場合に使用するチャンネルを設定をします。 設定範囲:1~13(ch)	設定範囲から無作為に選択
11a	無線動作モードが「11a」の場合に使用するチャンネルを設定をします。 設定範囲:34/38/42/46(ch)	設定範囲から無作為に選択
速度設定		
11b+g	11b+gの速度は自動設定のみです。 設定範囲:auto	auto
11g	11gの速度を設定します。 設定範囲:auto/54/48/36/24/18/12/9/6	auto
11a	11aの速度を設定します。 設定範囲:auto/54/48/36/24/18/12/9/6	auto

ルータ設定：無線LAN設定－暗号化設定

項目	内容	初期値
暗号方式	データの暗号方式の種別を設定します。 「OFF」：暗号化を行いません。 「WEP」：「WEP」項目の設定を行ってください。 「TKIP+PSK」：「WPA-PSK情報」項目の設定を行ってください。 セキュリティ強度はOFF<WEP<TKIP+PSKの順に高くなります。 設定範囲：OFF/WEP/TKIP+PSK	OFF
WEP		
WEPキータイプ	WEPキータイプの方式を設定します。 「自動設定 (Pass Phrase)」を選択：「WEPキー Pass Phrase」項目に Pass Phrase データを設定します。 「直接入力」を選択：「WEPキー設定情報」項目に WEPキーデータを設定します。 設定範囲：自動設定 (Pass Phrase) / 直接入力	自動設定 (Pass Phrase)
暗号化ビット長	WEPキーのビット長を設定します。WEPキーのビット長が長い程、セキュリティレベルは高くなります。 設定範囲：64/128	64
WEPキー Pass Phrase	WEPキーのPass Phraseを設定します。 設定後に「WEPキー生成」をクリックしてください。WEPキーを生成します。 設定範囲：1～31文字以内 半角英数字および記号（「空白」「；(セミコロン)」「"(ダブルクォーテーション)」を除く）	なし

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

項目	内容	初期値
WEPキー設定情報		
入力方式	WEPキーの形式を選択します。 設定範囲：16進数（HEX）入力/文字入力	16進数（HEX）入力
使用するWEPキー（キーインデックス）	使用するWEPキーの番号を設定します。 設定範囲：1～4	1
WEPキー 1～4	入力方式が16進数（HEX）入力の場合 設定範囲：a-f、A-F、0-9 暗号化ビット長：「64」：10桁、「128」：26桁 入力方式が文字入力の場合： 設定範囲： 半角英数字および記号（「空白」「;(セミコロン)」「"(ダブルクォーテーション)」を除く） 暗号化ビット長：「64」：5桁、「128」：13桁	なし
WPA-PSK情報		
PSK（事前共有キー）	PSK(事前共有キー)を設定します。 設定後に下記のキー更新間隔の値を設定してください。 設定範囲：8～63文字以内 半角英数字および記号（「空白」「;(セミコロン)」「"(ダブルクォーテーション)」を除く）	なし
キー更新間隔	暗号化キーの更新時間を設定します。 設定範囲0～60(分)	0(更新なし)

ルータ設定：無線LAN設定－MACアドレスフィルタリング

項目	内容	初期値
MACアドレスフィルタリング		
MACアドレスフィルタリング	MACアドレスフィルタリングの有効／無効を設定します。「有効」に設定した場合は「デフォルトポリシー」および「フィルタリングするMACアドレスの情報設定」の設定をします。 設定範囲：無効／有効	無効
デフォルトポリシー	デフォルトポリシーの設定をします。「許可」に設定した場合はすべてのMACアドレスからのアクセスを許可します。 設定範囲：拒否／許可	拒否
フィルタリングするMACアドレスの情報設定 フィルタリングするMACアドレスを32個登録することができます。		
MACアドレス	MACアドレスを設定します。 設定範囲：00:00:00:00:00:01～FF:FF:FF:FF:FF:FF(0～9、A～F、「：(コロン)」)	なし
ポリシー	ポリシーを設定します。 設定範囲：拒否／許可	許可

電話設定：

項目	内容	初期値
電話サービス		
音質優先モード	音声品質の優先度を設定します。 インターネットとひかり電話を同時に利用している条件でひかり電話の音声品質が劣化した場合は、本設定で「最優先」を選択することにより改善することがあります。 設定範囲：無／優先／最優先	無
割り込み音	キャッチホン契約時の割り込み音のあり/なしを設定します。 設定範囲：あり/なし 【注意】 お話中にかかってきた電話に出る必要がない場合は「なし」を選択してください。	あり

状態表示：

状態表示 ヘルプ?

バージョン

現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョン
アップデート状態	新しい更新はありません。
ファームウェア手動アップデート	
ファームウェア更新	更新確認 ダウンロード実行

動作状態

DSP状態	正常
SLIC状態	正常
ひかり電話状態	利用可
CALLTEL状態	正常
PPPoE状態(セッション1)	正常
PPPoE状態(セッション2)	正常
WANポート状態	正常
LAN 1 ポート状態	正常
LAN 2 ポート状態	正常
LAN 3 ポート状態	正常
LAN 4 ポート状態	正常

運用設定値

WAN側 MACアドレス	00:00:00:00:00:00
LAN側 MACアドレス	00:00:00:00:00:00
WAN側取得IPアドレス/マスク長	192.168.0.1/24
WAN側取得デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
セッション1: WAN側取得IPアドレス/マスク長	192.168.0.1/24
セッション2: WAN側取得IPアドレス/マスク長	192.168.0.1/24

PPPoEセッション設定

セッション1	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
セッション2	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効

速隔保守

速隔保守 許可しない 許可する

項目	内容	初期値
バージョン		
ファームウェアバージョン	<ul style="list-style-type: none"> ■現在のバージョン 現在のファームウェアバージョンです。 ■最新のバージョン アップデートサーバにあるファームウェアバージョンです。 	なし
アップデート状態	ファームウェアの更新に関する状態です。	なし
ファームウェア手動アップデート		
ファームウェア更新	<ul style="list-style-type: none"> ■更新確認 ファームウェアの更新状態を確認します。 ファームウェアの更新確認結果を、“アップデート状態”へ表示します。 ファームウェアの更新がある場合、「ダウンロード実行」をクリックしてファームウェアの更新を行ってください。 【注意】 ひかり電話が使用できない場合は更新確認できません。 ■ダウンロード実行 ファームウェアのダウンロードを実行し、自動的にファームウェアの更新を行います。 	なし

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

項目	内容	初期値
動作状態		
DSP状態	DSPの状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
SLIC状態	TEL制御部の状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
ひかり電話状態	ひかり電話のサービス状況を表示します。 範囲：利用可/利用不可	なし
CALLTBL状態	電話回線の回線選択データベースの状態を表示します。 範囲：正常/異常	なし
PPPoE状態 (セッション1)	WAN側ネットワーク(セッション1)の状態を表示します。 範囲：正常／異常／未使用／認証エラー／重複	なし
PPPoE状態 (セッション2)	WAN側ネットワーク(セッション2)の状態を表示します。 範囲：正常／異常／未使用／認証エラー／重複	なし
WANポート 状態	WAN側インターフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
LAN 1 ポート状態	LAN 1 側インターフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
LAN 2 ポート状態	LAN 2 側インターフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
LAN 3 ポート状態	LAN 3 側インターフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
LAN 4 ポート状態	LAN 4 側インターフェースの回線状態を表示します。 範囲：正常／異常	なし
運用設定値		
WAN側MAC アドレス	本商品のWAN側MACアドレスを表示します。	なし
LAN側MAC アドレス	本商品のLAN側MACアドレスを表示します。	なし
WAN側取得 IPアドレス /マスク長	本商品のWAN側が取得しているIPアドレスおよびマスク長を表示します。	なし
WAN側取得 デフォルト ゲートウェイ	本商品のWAN側が取得しているデフォルトゲートウェイを表示します。	なし

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

項目	内容	初期値
セッション2: WAN側取得 IPアドレス/ マスク長	(PPPoE接続でセッション2を利用している場合) 本商品のWAN側(セッション2)が取得しているIPアドレスおよびマスク長を表示します。	なし
PPPoEセッション設定		
セッション1 セッション2	PPPoEセッションの設定を行います。 実行するセッションの「有効」または「無効」をクリックします。 結果を実行結果画面に表示します。	なし
遠隔保守		
遠隔保守	本商品の設定を遠隔から行うことを許可する場合、「許可する」に設定します。 「実行」をクリックすることで、即時有効となります。 再起動後、本設定は初期値に戻ります。 設定範囲：許可しない/許可する 【注意】 必要がない場合は変更しないでください。	許可しない

ログ表示：障害ログ表示

ログ表示

ヘルプ?

障害ログ

ELOG.LOG : There are 001 entries.

```
1. 01(Report) 00(SYSTEM) 03(COMREBOOT) SEQ=00 Thu Jan 1 09:02:30 2006
    46757052 65626F6F 74000000 00000000 FupReboot.....
```

項目	内容												
障害ログ	<p>障害ログは以下の項目を表示します。(最大100件) ログに記録する日時の情報はひかり電話から自動的に取得します。 【注意】 初期設定状態など、ひかり電話から日時の情報を取得する前は、日時が1970年代になっている場合があります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示番号</th> <th>ログ種別</th> <th>装置番号 (略名)</th> <th>詳細番号 (略名)</th> <th>回線番号</th> <th>日時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">詳細メッセージ</td> </tr> </tbody> </table> <p>【注意】 お客様の利用状況によっては、表示内容が消去される場合があります。</p>	表示番号	ログ種別	装置番号 (略名)	詳細番号 (略名)	回線番号	日時	詳細メッセージ					
表示番号	ログ種別	装置番号 (略名)	詳細番号 (略名)	回線番号	日時								
詳細メッセージ													

ログ表示：通話ログ表示

ログ表示

ヘルプ?

通話ログ

CALL.LOG : There are 001 entries.

```

1. Thu Jan 1 09:29:40 2004  Thu Jan 1 09:30:01 2004  Thu Jan 1 09:30:33 2004
   05044                      VoIP TRM NW 042 000
   05077                      192.168.222.177 G711ulaw
           0/          0/          0          0/          0          0
           0          0          0          0          0          0
    
```

項目	内容																																							
通話ログ	<p>通話ログは以下の項目を表示します。(最大100件) ログに記録する日時の情報はひかり電話から自動的に取得します。 【注意】 初期設定状態など、ひかり電話から日時の情報を取得する前は、日時が1970年代になっている場合があります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">表示番号</th> <th style="width: 15%;">発着信日時</th> <th colspan="2" style="width: 25%;">通話開始日時</th> <th colspan="2" style="width: 25%;">通話切断日時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>装置内電話番号</td> <td>回線種別 (※ 1)</td> <td>発着信 (※ 2)</td> <td>切断源 (※ 3)</td> <td>切断理由</td> <td>エラープロトコル</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">相手先電話番号 (※ 4)</td> <td colspan="3">相手先 IP アドレス (※ 5)</td> <td>音声 CODEC (※ 6)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最大遅延</td> <td>最小遅延</td> <td>平均遅延</td> <td>受信パケット数</td> <td>廃棄パケット数</td> <td>パケット到着ジッタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(未使用)</td> <td>RTP パケット (シーケンス番号) 紛失数</td> <td>RTP パケット (シーケンス番号) 入替り数</td> <td>(未使用)</td> <td>(未使用)</td> <td>(未使用)</td> </tr> </tbody> </table> <p> 【※ 1】 回線種別 : VoIP/VoCW 【※ 2】 発着信 : ORG/ORGS/TRM/TRMS 【※ 3】 切断源 : GW(自装置切断)/NW(相手切断)/UK(不明) 【※ 4】 非通知着信の場合は“-”と表示されます 【※ 5】 相手先IPアドレスが取得できなかった場合は空欄 【※ 6】 CODEC: 通話時に使用した音声CODEC G711ulaw:G.711 μ-law G711Alaw:G.711A-law G729:G.729 </p> <p>【注意】 お客様の利用状況によっては、表示内容が消去される場合があります。</p>						表示番号	発着信日時	通話開始日時		通話切断日時			装置内電話番号	回線種別 (※ 1)	発着信 (※ 2)	切断源 (※ 3)	切断理由	エラープロトコル		相手先電話番号 (※ 4)		相手先 IP アドレス (※ 5)			音声 CODEC (※ 6)		最大遅延	最小遅延	平均遅延	受信パケット数	廃棄パケット数	パケット到着ジッタ		(未使用)	RTP パケット (シーケンス番号) 紛失数	RTP パケット (シーケンス番号) 入替り数	(未使用)	(未使用)	(未使用)
表示番号	発着信日時	通話開始日時		通話切断日時																																				
	装置内電話番号	回線種別 (※ 1)	発着信 (※ 2)	切断源 (※ 3)	切断理由	エラープロトコル																																		
	相手先電話番号 (※ 4)		相手先 IP アドレス (※ 5)			音声 CODEC (※ 6)																																		
	最大遅延	最小遅延	平均遅延	受信パケット数	廃棄パケット数	パケット到着ジッタ																																		
	(未使用)	RTP パケット (シーケンス番号) 紛失数	RTP パケット (シーケンス番号) 入替り数	(未使用)	(未使用)	(未使用)																																		

保守：パスワード設定

項目	内容	初期値
Web設定 ログインパスワード設定		
パスワード	<p>Web設定へのパスワードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■現在のパスワード 現在使用しているパスワードを半角英数字で設定します。 ■新しいパスワード/確認 新しいパスワードを半角英数字で設定します。「新しいパスワード確認」にも同じパスワードを設定します。 設定範囲：1～10文字以内 半角英数字および記号（「空白」「;（セミコロン）」「"（ダブルクォーテーション）」を除く） 	なし

保守：Ping送信

項目	内容
Ping送信	
Ping送信	<p>Pingを送信し正常に接続できることを確認します。 WAN/LANどちらの側の装置にも送信することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ステップ1 送信先IPアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255(0～9、「.(ドット)」) ■ステップ2 「実行」をクリックするとPing送信され、送信先端末との通信結果が表示されます。 (Pingの送信回数は1回です。) <p>【注意】 PPPoE設定の接続モードが要求時接続に設定されているときは、Ping送信に失敗する場合があります。 PPPoE状態にて接続されていることを確認し、再度実行することで成功する場合があります。</p>

保守：設定値保存/復元

設定値保存/復元 ヘルプ?

設定値の保存/復元

実行アクション 保存 復元

復元情報の設定

復元ファイル 参照...

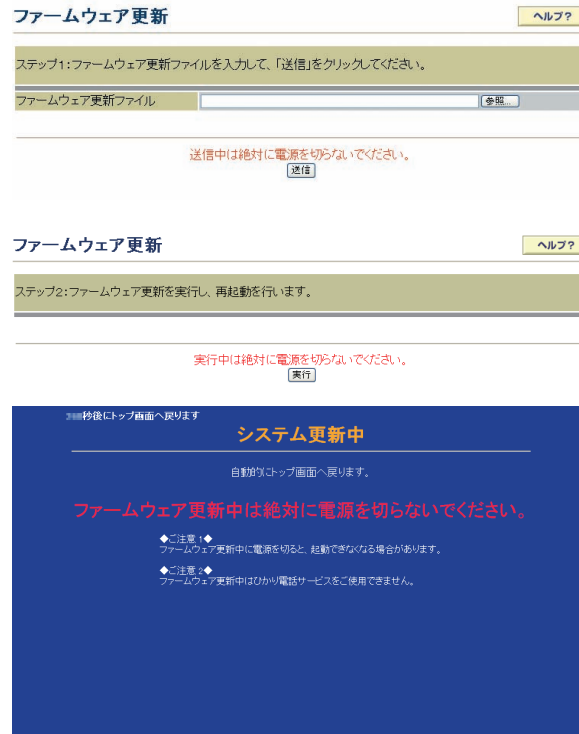
実行

項目	内容
設定値保存/復元	
設定値の保存	<p>本商品の設定データをファイルに保存します。</p> <p>■ステップ1 設定値の保存/復元の実行アクションを保存に設定します。</p> <p>■ステップ2 「実行」をクリックします。</p> <p>■ステップ3 設定データをファイルに保存します。保存するファイル名は任意に変更可能です。</p>
設定値の復元	<p>ファイルに保存した設定データを本商品へ復元します。</p> <p>■ステップ1 設定値の保存/復元の実行アクションを復元に設定します。</p> <p>■ステップ2 復元情報の設定の復元ファイルで、「参照」をクリックして、保存した設定データのファイルを設定します。</p> <p>■ステップ3 「実行」をクリックします。</p> <p>■ステップ4 本商品を再起動します。</p> <p>【注意】 設定データファイル保存時よりも古いファームウェアが適用された本商品へは復元できません。</p>

 お知らせ

- Windows® XP(サービスパック2)・Internet Explorer 6・Internet Explorer 7をご利用の場合、Internet Explorerのセキュリティ保護のため情報バーが表示される場合があります。情報バーをクリックし、[ファイルのダウンロード] を選択してから、もう一度手順をやり直してください。
- 本商品のWeb設定ログインパスワードは保存される設定データに含まれません。復元時はあらかじめ本商品に設定されたWeb設定ログインパスワードが設定されます。

保守：ファームウェア更新

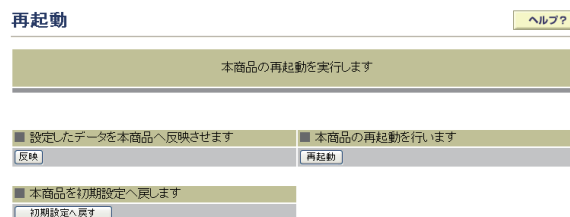


項目	内容
ファームウェア更新	
ファームウェア更新	<ul style="list-style-type: none"> ■ステップ1 「参照」をクリックして、更新対象ファームウェアを選択してください。 「送信」をクリックしてください。 ■ステップ2 ファームウェア更新画面が表示されるので、「実行」をクリックしてください。 ■ステップ3 ファームウェア更新中は、絶対に電源を切らないでください。 ■ステップ4 ファームウェア更新終了後、自動的に「かんたん設定」画面に戻ります。

保守：ファームウェア更新設定

項目	内容	初期値
バージョン		
ファームウェアバージョン	<ul style="list-style-type: none"> ■現在のバージョン 現在のファームウェアバージョンです。 ■最新のバージョン アップデートサーバにあるファームウェアバージョンです。 	なし
アップデート状態	ファームウェアの更新に関する状態です。	なし
ファームウェア手動アップデート		
ファームウェア更新	<ul style="list-style-type: none"> ■更新確認 ファームウェアの更新状態を確認します。 ファームウェアの更新確認結果を、「アップデート状態」へ表示します。 ファームウェアの更新がある場合、「ダウンロード実行」をクリックしてファームウェアの更新を行ってください。 【注意】 ひかり電話が使用できない場合は更新確認できません。 ■ダウンロード実行 ファームウェアのダウンロードを実行し、自動的にファームウェアの更新を行います。 	なし
アップデート設定		
ファームウェア更新種別	ファームウェア更新の方法を設定します。 「即時更新」：新しいファームウェアが確認されたら(ただし、「ファームウェア更新設定」、「状態表示」画面からの更新確認の場合は除く)、すぐにバージョンアップします。 「定時更新」：新しいファームウェアが確認されたら、定時更新時間の設定にあわせてバージョンアップします。 「手動更新」：「ファームウェア更新設定」、「状態表示」画面から「ダウンロード実行」をクリック、または電話機からの操作でのみバージョンアップします。 範囲：即時更新／定時更新／手動更新	手動更新
定時更新時間	1日ごとの定期的なバージョンアップの時間を設定します。 設定した時間+60分未満(ランダム)でバージョンアップします。 ※新しいファームウェアがない場合は何もしません。 範囲：00:00～23:00 【注意】 ファームウェア更新種別で「定時更新」を選択した場合のみ設定できます。	なし

再起動



項目	内容
再起動	<p>本商品の再起動を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■反映 設定したデータを本商品へ保存し、本商品の再起動を行います。 ■再起動 本商品の再起動のみ行います。 【注意】各設定画面で「送信」をクリックし、メニュー画面で「反映」をクリックする前のデータは保存されません。 ■初期設定へ戻す 本商品の設定を初期設定へ戻し、再起動を行います。

第3章 付録

■ 設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し、大切に保管してください。
プロバイダの認証パスワードは、お客様の個人情報となります。
記入された場合は、本設定記入シートのお取り扱いにご注意ください。

初期設定		設定項目	項目名	設定データ
		Web 設定ログイン パスワード設定	新しいパスワード	

メイン メニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ	
かんたん 設定		インターネットサービスプロ バイダ設定	接続ユーザ名		
			接続パスワード		
ルータ 設定	ネットワーク 設定	LAN 側ネットワーク設定	LAN 側 IP アドレス / マスク長	/	
		PPPoE ブリッジ設定	PPPoE ブリッジ設定	無効 / 有効	
		IPv6 ブリッジ設定	IPv6 ブリッジ設定	無効 / 有効 / 有線 LAN のみ有効	
		NTP サーバ設定	NTP サーバ IP アドレス		
		ポート設定	WAN ポート設定	WAN ポート設定	自動認識 / 100M 全二重 / 100M 半二重 / 10M 全二重 / 10M 半二重
			LAN1 ポート設定	LAN1 ポート設定	自動認識 / 100M 全二重 / 100M 半二重 / 10M 全二重 / 10M 半二重
			LAN2 ポート設定	LAN2 ポート設定	自動認識 / 100M 全二重 / 100M 半二重 / 10M 全二重 / 10M 半二重
LAN3 ポート設定	LAN3 ポート設定		自動認識 / 100M 全二重 / 100M 半二重 / 10M 全二重 / 10M 半二重		
LAN4 ポート設定	LAN4 ポート設定	自動認識 / 100M 全二重 / 100M 半二重 / 10M 全二重 / 10M 半二重			
LAN 側 MDI/MDI-X モード 設定	MDI/MDI-X 設定	MDI/MDI-X 設定	自動設定 / MDI 固定 / MDI-X 固定		

マニュアルの
見かた

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	PPPoE 設定	接続先設定	セッション 1	接続先 1 / 接続先 2 / 接続先 3 / 接続先 4 / 接続先 5 / 接続しない
			セッション 2	接続先 1 / 接続先 2 / 接続先 3 / 接続先 4 / 接続先 5 / 接続しない
		接続先 1	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし / PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間： (秒)
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
			IP アドレス指定	指定しない / 指定する (unnumbered 接続)
			IP アドレス / マスク長	/
		接続先 2	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし / PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間： (秒)
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
			IP アドレス指定	指定しない / 指定する (unnumbered 接続)
			IP アドレス / マスク長	/
		接続先 3	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし / PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間： (秒)
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
			IP アドレス指定	指定しない / 指定する (unnumbered 接続)
			IP アドレス / マスク長	/

マニュアルの
見かた

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	PPPoE 設定	接続先 4	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし / PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間： (秒)
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
			IP アドレス指定	指定しない / 指定する (unnumbered 接続)
			IP アドレス / マスク長	/
		接続先 5	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			認証方式	認証なし / PAP/CHAP/PAP+CHAP
			接続モード	常時接続 / 要求時接続 自動切断までの時間： (秒)
			DNS サーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU 値	
	DHCP 設定	LAN 側ネットワーク設定	LAN 側 IP アドレス / マスク長	/
			DHCP サーバ設定	DHCP サーバ機能
		固定 IP アドレスで使用する 端末の情報設定	割り当て開始 IP アドレス	
			割り当て終了 IP アドレス	
			DNS サーバアドレス	
			IP アドレス	(←P3-7 参照)
MAC アドレス				

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	NAPT 設定	—	動的 NAPT 機能	有効 / 無効
		—	簡易 DMZ IP アドレス	
		UPnP 設定	UPnP 機能	無効 / セッション 1 有効 / セッション 2 有効
		静的 NAPT 設定 (ポート転送規則)	割り当て WAN 側 受信ポート範囲	(●P3-8 参照)
			プロトコル種別	
	LAN 側 転送 IP アドレス			
		LAN 側 転送ポート		
	IP フィルタ設定	—	デフォルトの規則	許可 / 破棄
		パケットフィルタ規則	方針 (POLICY)	許可 / 破棄
			プロトコル種別 (PROTOCOL)	(●P3-10 ~ P3-17 参照)
			入力インタフェース (IN)	
			出力インタフェース (OUT)	
			送信元 IP アドレス / マスク長 (SOURCEIP/MASK)	
			送信先 IP アドレス / マスク長 (DESTINATIONIP/ MASK)	
			送信先ポート番号 (PORT)	
	ルーティング テーブル設定 ルーティング条 件(セッション1)	スタティックルーティング 設定	宛先ネットワークアドレス / マスク長	
			ゲートウェイ IP アドレス	
ルーティング テーブル設定 ルーティング条 件(セッション2)	—	追加するドメイン名	(●P3-19 参照)	
	—	追加する宛先ネットワー クアドレス / マスク長	(●P3-20 参照)	

マニュアルの
見かた

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	VPN パススルー設定	PPTP パススルー設定	WAN から LAN へのアクセス	有効/無効
			LAN 側 IP アドレス	
			WAN 側 IP アドレス	すべて/指定 指定:
		IPsec パススルー設定	WAN から LAN へのアクセス	有効/無効
			LAN 側 IP アドレス	
			WAN 側 IP アドレス	すべて/指定 指定:
		L2TP パススルー設定	WAN から LAN へのアクセス	有効/無効
			LAN 側 IP アドレス	
			WAN 側 IP アドレス	すべて/指定 指定:
	Windows 共有 フィルタ/ステ ルス設定	—	Windows 共有フィルタ	有効/無効
		ステルスモード設定	TCP ステルスモード	有効/無効
			UDP ステルスモード	有効/無効
			ICMP ステルスモード	有効/無効
	無線 LAN 設定 基本設定	—	無線動作モード	11b+g / 11g / 11a
			無線ネットワーク名 (SSID)	
			無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)	有効/無効
			送信パワー設定	100 / 50 / 25 (%)
		無線チャンネル	11b+g/11g	1 (チャンネル) / 2 (チャンネル) / 3 (チャンネル) / 4 (チャンネル) / 5 (チャンネル) / 6 (チャンネル) / 7 (チャンネル) / 8 (チャンネル) / 9 (チャンネル) / 10 (チャンネル) / 11 (チャンネル) / 12 (チャンネル) / 13 (チャンネル)
11a			34 (チャンネル) / 38 (チャンネル) / 42 (チャンネル) / 46 (チャンネル)	

マニュアルの
見かた1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

3 付録

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ		
ルータ設定	無線 LAN 設定 基本設定	速度設定	11b+g	auto		
			11g	auto / 54 (Mbps) / 48 (Mbps) / 36 (Mbps) / 24 (Mbps) / 18 (Mbps) / 12 (Mbps) / 9 (Mbps) / 6 (Mbps)		
			11a	auto / 54 (Mbps) / 48 (Mbps) / 36 (Mbps) / 24 (Mbps) / 18 (Mbps) / 12 (Mbps) / 9 (Mbps) / 6 (Mbps)		
	無線 LAN 設定 暗号化設定	—	暗号方式	暗号方式	OFF / WEP / TKIP + PSK	
				WEP	WEP キータイプ	自動設定 (Pass Phrase) / 直接入力
					暗号化ビット長	64 / 128
		WEP キー設定情報	WEP キー設定情報	入力方法	英数字 / 16 進 (HEX) 入力	
				使用する WEP キー (キーインデックス)	1 / 2 / 3 / 4	
				WEP キー 1		
				WEP キー 2		
				WEP キー 3		
		WPA-PSK 情報	WPA-PSK 情報	PSK (事前共有キー)		
				キー更新間隔	0 (更新なし)、1 ~ 60 分	
	無線 LAN 設定 MAC アドレス フィルタリング	MAC アドレスフィルタリング	MAC アドレスフィルタリング	有効 / 無効		
			デフォルトポリシー	拒否 / 許可		
		フィルタリングする MAC アドレスの情報設定	MAC アドレス ポリシー	(●P3-21 参照)		
	設定 電話	—	電話サービス	音質優先モード	無 / 優先 / 最優先	
割り込み音				あり / なし		
保守	ファームウェア 更新設定	アップデート設定	ファームウェア更新種別	即時更新 / 定時更新 / 手動更新		
			定時更新時間			

目次

用語集

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

1. 固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

登録番号	IPアドレス	MACアドレス	記事
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

2. 静的NAPT設定（ポート転送規則）

登録番号	割り当てWAN側受信 ポート範囲	プロトコル種別	LAN側転送 IPアドレス	LAN側転送 ポート	記事
1	～	TCP / UDP			
2	～	TCP / UDP			
3	～	TCP / UDP			
4	～	TCP / UDP			
5	～	TCP / UDP			
6	～	TCP / UDP			
7	～	TCP / UDP			
8	～	TCP / UDP			
9	～	TCP / UDP			
10	～	TCP / UDP			
11	～	TCP / UDP			
12	～	TCP / UDP			
13	～	TCP / UDP			
14	～	TCP / UDP			
15	～	TCP / UDP			
16	～	TCP / UDP			
17	～	TCP / UDP			
18	～	TCP / UDP			
19	～	TCP / UDP			
20	～	TCP / UDP			
21	～	TCP / UDP			
22	～	TCP / UDP			
23	～	TCP / UDP			
24	～	TCP / UDP			
25	～	TCP / UDP			
26	～	TCP / UDP			
27	～	TCP / UDP			
28	～	TCP / UDP			
29	～	TCP / UDP			

登録番号	割り当て WAN 側受信 ポート範囲	プロトコル種別	LAN 側転送 IP アドレス	LAN 側転送 ポート	記事
30	～	TCP / UDP			
31	～	TCP / UDP			
32	～	TCP / UDP			

3. パケットフィルタ規則

登録 番号	方針	プロトコル 種別	入力 インタフェース	出力 インタフェース	送信元 IP アド レス / マスク長	送信先 IP アド レス / マスク長	送信先ポート 番号	記事
1	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~ ()	
2	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~ ()	
3	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~ ()	
4	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~ ()	
5	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~ ()	
6	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~ ()	
7	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~ ()	
8	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~ ()	
9	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~ ()	

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

登録 番号	方針	プロトコル 種別	入力 インタフェース	出力 インタフェース	送信元 IP アド レス / マスク長	送信先 IP アド レス / マスク長	送信先ポート 番号	記事
10	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
11	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
12	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
13	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
14	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
15	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
16	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
17	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
18	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	

目次

用語集

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

登録 番号	方針	プロトコル 種別	入力 インタフェース	出力 インタフェース	送信元 IP アド レス / マスク長	送信先 IP アド レス / マスク長	送信先ポート 番号	記事
19	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (~)	
20	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (~)	
21	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (~)	
22	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (~)	
23	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (~)	
24	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (~)	
25	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (~)	
26	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (~)	
27	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (~)	

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

登録 番号	方針	プロトコル 種別	入力 インタフェース	出力 インタフェース	送信元 IP アド レス / マスク長	送信先 IP アド レス / マスク長	送信先ポート 番号	記事
28	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
29	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
30	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
31	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
32	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
33	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
34	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
35	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
36	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

登録 番号	方針	プロトコル 種別	入力 インタフェース	出力 インタフェース	送信元 IP アド レス / マスク長	送信先 IP アド レス / マスク長	送信先ポート 番号	記事
37	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
38	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
39	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
40	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
41	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
42	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
43	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
44	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
45	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

登録 番号	方針	プロトコル 種別	入力 インタフェース	出力 インタフェース	送信元 IP アド レス / マスク長	送信先 IP アド レス / マスク長	送信先ポート 番号	記事
46	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
47	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
48	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
49	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
50	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
51	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
52	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
53	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	
54	許可 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / (/)	全て / 指定 / () ~)	

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先 IP アドレス / マスク長	送信先ポート番号	記事
55	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	
56	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	
57	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	
58	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	
59	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	
60	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	
61	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	
62	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	
63	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	

目次

用語集

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先 IP アドレス / マスク長	送信先ポート番号	記事
64	許可 / 破棄	全て / TCP / UDP / ICMP	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / WAN / LAN / セッション 1 / セッション 2	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () /	全て / 指定 / () ~	

4. ルーティングテーブル設定 ルーティング条件（セッション1）

登録番号	宛先ネットワークアドレス/マスク長	ゲートウェイIPアドレス	記事
1	/		
2	/		
3	/		
4	/		
5	/		
6	/		
7	/		
8	/		
9	/		
10	/		
11	/		
12	/		
13	/		
14	/		
15	/		
16	/		
17	/		
18	/		
19	/		
20	/		
21	/		
22	/		
23	/		
24	/		

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

5. ルーティングテーブル設定 ルーティング条件（セッション2）

登録番号	追加するドメイン名	記事
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

マニュアルの
見かた

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録

登録番号	追加する宛先ネットワークアドレス / マスク長	記事
1	/	
2	/	
3	/	
4	/	
5	/	
6	/	
7	/	
8	/	
9	/	
10	/	
11	/	
12	/	
13	/	
14	/	
15	/	
16	/	

6. フィルタリングするMACアドレスの情報設定

登録番号	MACアドレス	ポリシー	記事
1		拒否/許可	
2		拒否/許可	
3		拒否/許可	
4		拒否/許可	
5		拒否/許可	
6		拒否/許可	
7		拒否/許可	
8		拒否/許可	
9		拒否/許可	
10		拒否/許可	
11		拒否/許可	
12		拒否/許可	
13		拒否/許可	
14		拒否/許可	
15		拒否/許可	
16		拒否/許可	
17		拒否/許可	
18		拒否/許可	
19		拒否/許可	
20		拒否/許可	
21		拒否/許可	
22		拒否/許可	
23		拒否/許可	
24		拒否/許可	
25		拒否/許可	
26		拒否/許可	
27		拒否/許可	
28		拒否/許可	
29		拒否/許可	
30		拒否/許可	

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録

登録番号	MAC アドレス	ポリシー	記事
31		拒否/許可	
32		拒否/許可	

用語集

【アルファベット順】

ANY接続	パソコンに取り付けた無線LANカードの設定で、接続先無線LANアクセスポイントのSSIDを空欄に設定した場合に、クライアント端末から電波が届く範囲にいる無線LANアクセスポイントの中で最も電波状態が良好な無線LANアクセスポイントに接続する方法のことです。
CHAP (Challenge Handshake Authentication Protocol)	PPPで接続のときにユーザを認証するために利用する認証用プロトコルです。PAPと異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取りするため、安全性が高いという特徴があります。RFC1994で仕様が公開されています。
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバアドレスなどのIP設定値を、インターネットに接続するときにプロバイダのDHCPサーバから取得します。(このとき、本商品のWAN側ポートはDHCPクライアントとなります。) 設定が非常に簡単ですが、接続するたびにWAN側IPアドレスが変化することになる方式です。
DHCP クライアント (DHCP Client)	DHCPサーバにより接続に必要なIPアドレス等を割り当てられるシステムです。
DHCPサーバ (DHCP Server)	DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するシステムです。
DNS (Domain Name System)	TCP/IPネットワークで使われ、コンピュータについた名前と実際のアドレスを関連付けるシステムです。

DNSサーバ (Domain Name System Server)	ネットワークのグループについて名前を問い合わせると、そのIPアドレスを教えてくれるサーバのことです。DNSサーバを使用することにより、WWWブラウザなどのアドレス入力欄でアドレスを文字で入力することができます。(IPアドレスの数値を直接入力する必要がなくなります。)
DNSリレー (Domain Name System Relay)	LAN側からPPPやDHCPなどから取得したDNSサーバアドレスへDNS問い合わせを中継し、名前解決を実施します。
DSP (Digital Signal Processor)	デジタル信号処理専用のマイクロプロセッサです。音声や画像などの処理に特化しています。
FQDN (Fully Qualified Domain Name)	ホストやドメインを指定する場合にドメイン名部分の文字列を省略せずにすべて記述する表記方法です。
FTP (File Transfer Protocol)	ネットワーク上のクライアントとホストコンピュータとの間で、ファイルの転送を行うためのプロトコルです。
HTTP (Hyper-Text Transfer Protocol)	WWWサーバとブラウザの間でHTML (hypertext markup language) ファイルなどを転送するときに利用するプロトコルです。
ICMP (Internet Control Message Protocol)	TCP/IPプロトコルにおいて、その機能を補助するために用意された制御用のプロトコルであり、RFC792で定義されています。TCP/IPパケットの転送中において発生した各種のエラーの通知や、動作の確認などを行うために利用されます。

マニュアルの
見かた1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

3 付録

IEEE802.11 IEEE802.11は無線LAN通信に関する国際標準規格のひとつです。この規格を拡張したものととしてIEEE802.11a/802.11b/802.11gがあります。

IEEE802.11a IEEE802.11を拡張した無線LAN通信に関する国際標準規格です。最大速度54Mbpsによる通信が可能です。5.2GHz帯の電波を使用しますので、法令により屋外での使用は禁止されています。

IEEE802.11b IEEE802.11を拡張した無線LAN通信に関する国際標準規格です。最大速度11Mbpsによる通信が可能です。2.4GHz帯の電波を使用します。

IEEE802.11g IEEE802.11bに、IEEE802.11aの高速化技術を取り入れたものです。最大速度54Mbpsによる通信が可能です。2.4GHz帯の電波を使用します。

IP (Internet Protocol) 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表します。IPアドレスにより相手先を判断します。

IPsec (Security Architecture for the Internet Protocol) IPのパケットを暗号化し、インターネット上で通信するための規格です。VPNで最も広く使用されています。

IPアドレス (Internet Protocol Address) ネットワーク上で機器を特定するためのアドレスです。例えば、192.168.1.1のようにピリオドを挟んだ4つの数字 (0~255) で表します。

IP電話 インターネットなどのIPネットワーク上で音声データを転送するサービスです。

IPパケットフィルタリング (Internet Protocol Packet Filtering) ネットワークを流れるデータ (IPパケット) を選別し、そのデータを通過させるか (許可)、させないか (拒否) を指定することで、外部から流れてくる不要なデータを遮断したり、逆に内部からデータ漏洩を防ぐ技術です。

LAN (Local Area Network) ローカル・エリア・ネットワークの略称です。小規模なコンピュータネットワークのことです。

L2TP (Layer 2 Tunneling Protocol) VPNを構築するためのプロトコルです。OSI基本参照モデルのデータリンク層でトンネリングを実現します。

MACアドレス (MAC Address) LANに接続されている機器を識別するためのアドレスです。各機器に対して重複しない6バイトのアドレスが付与されています。

MACアドレスフィルタリング すべてのネットワーク機器は固有の番号としてMACアドレスという6バイト (12桁) の番号を持っています。無線LAN通信においてはサーバが通信できるMACアドレスを指定し、通信を受けたくない無線LANカードなどからの通信を防ぎます。

MDI/MDI-X (Medium Dependent Interface/ Medium Dependent Interface Crossover) より対線 (ツイストペアケーブル) を利用するEthernet機器のポートの種類です。ネットワークカードのポートのように端子の1・2番に送信、3~6番に受信が割り当てられているものをMDIといい、ハブやスイッチのように送受信の配置がその逆に割り当てられているものをMDI-Xといいます。MDIとMDI-Xの接続にはストレートケーブルを、MDI同士やMDI-X同士の接続にはクロスケーブルを用います。MDI/MDI-Xを「自動設定」にすると、相手のポートタイプを自動判別して接続します。

MSS (Maximum Segment Size) 最大セグメント・サイズです。TCPを使った通信では、最初のTCP接続確立時に、1パケットのTCP最大データ長を表します。MSS値=MTU値-40の数値で表します。

MTU
(Maximum
Transmission
Unit)

ネットワークにおいて、1回で送信できる1パケットのデータの最大値を示す値で、RFC791で定義されています。本商品では1454としています。MTUの単位はバイトです。

NAPT
(Network
Address Port
Translation)

LANで利用されるプライベートIPアドレスをグローバルIPアドレスに変換する仕組みです。これにより、複数の機器が1つのグローバルアドレスを利用して接続ができるようになります。

NAT
(Network
Address
Translation)

割り当てられたひとつのIPアドレスを複数のコンピュータで共有する技術のことです。

NetBIOS
(Network
Basic Input/
Output
System)

ネットワーク環境を実現するトランスポート層やセッション層のネットワーク・サービスと呼び出すためのAPIインターフェイスです。RFC1001、RFC1002で仕様が公開されています。下位プロトコルに、TCP/IP（ポート137,138,139; Windows 2000/XP/Vistaでは、さらにポート445）が使われます。

主としてLAN（ローカル・エリア・ネットワーク）環境やイントラネット環境を想定したものであり、WAN接続やプロバイダ接続する場合などは離れた場所でも、ファイル共有、プリンタ共有が使えるなどの利点はありますが、「不必要な情報」が外部へ流出する可能性があります。本商品はNetBIOSによる情報の外部流出を防止することができます。また、ロケーション・サービス（TCP/UDPポート番号135）に対しても同様の処置がとられます。

NTP
(Network Time
Protocol)

ネットワークを介して時刻を調整するプロトコルです。具体的には、クライアントの内部時計を、インターネット上に存在するNTPサーバを介して時刻を調整します。

ONU
(Optical
Network Unit)

光ファイバ通信で、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するために使用する終端装置です。光ファイバを流れてきた信号を対応機器で使用できる信号に変換する機能を持ちます。

PAP
(Password
Authentication
Protocol)

PPPリンクの接続を確立するときに認証するプロトコルです。RFC1334で仕様が公開されています。

PING
(Packet
InterNet
Groper)

TCP/IPネットワークにおいてパケットの送受信テストを行うコマンドです。ネットワーク機器が接続されているかどうかの確認に利用します。

PPP
(Point-to-Point
Protocol)

2地点間での通信に利用するWAN用のプロトコルです。主にダイヤルアップ接続などに利用されます。

PPPoE
(Point-to-Point
Protocol over
Ethernet)

Ethernet上にPPPコネクションを構築し、PPPによる認証を経て通信が可能になる方式です。一般的に、接続のときにPPPoEユーザ名とパスワードが必要になります。フレッツ・ADSLやBフレッツはこの方式を採用しています。この方式は、プロバイダ側のPPPoEサーバとの1対1接続になるため、サブネットマスクやデフォルトゲートウェイという概念はありません。一方、IPアドレスやDNSサーバアドレス（プライマリ/セカンダリ）に関しては、PPP（IPCP）ネゴシエーション中にプロバイダのサーバから自動取得する場合はほとんどですが、自動取得せずに常に同じIPアドレス、DNSサーバアドレスを利用するサービスもあります。RFC2516で仕様が公開されています。

PPTP
(Point to Point
Tunneling
Protocol)

米インターネット上で暗号化された情報を送受信するときに使用されるプロトコルで、VPNを実現するために利用されています。PPPというプロトコルを拡張したものです。国際標準規格RFC2637で定義されています。

SIP
(Session
Initiation
Protocol)

ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの1つです。RFC3261で仕様が公開されています。

マニュアルの
見かた**1** こんなときには
この設定にする**2** 本商品の
設定画面**3** 付録**SIPサーバ
(Session
Initiation
Protocol
Server)**

ひかり電話サービスネットワーク内に設置され、各装置のひかり電話サービスへの登録および、装置間の通話確立などを仲介するサーバです。プロキシサーバ、レジスタサーバから構成します。

**SLIC
(Subscriber
Line Interface
Circuit)**

電気通信事業者の設備と加入者の間を結ぶ回線のこと、加入者回路、加入者線終端回路を意味します。

**SSID
(Service Set
Identifier)**

通信時に使用するネットワーク識別用のIDです。本商品にSSIDを設定しておき、接続するパソコン等にも同じSSIDを設定しておけば、通信が可能になります。(本商品と、接続するパソコン等と同じSSIDを設定しないと無線LAN通信はできません。)接続するネットワークをSSIDで指定することができます。SSIDは、セキュリティ機能の一つに分類される場合もありますが、あくまでも接続先の識別機能ですので、他のパソコンからのアクセスを防止するため、一定期間ごとに変更することを推奨します。また、SSIDを設定後に、他のセキュリティ設定をすることをお勧めします。

**TCP
(Transmission
Control
Protocol)**

データの転送を制御するプロトコルです。送信先に接続してデータ送信をします。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できます。

**TCP/IP
(Transmission
Control
Protocol/
Internet
Protocol)**

インターネットでの標準プロトコルです。TCP/UDPとIPというそれぞれのプロトコルを用いて通信を行います。

**TKIP
(Temporal
Key Integrity
Protocol)**

従来の暗号化であるWEPの脆弱性を克服するために、キーを自動的に変更して暗号化を行うように改良された暗号化方式の1つです。定期的に使用する暗号化キーを変更するために、キーの解析が困難となり、WEPより強固なセキュリティとなります。

**UDP
(User
Datagram
Protocol)**

データの転送を制御するプロトコルです。TCPとは異なり受信側へ接続をせずに送信します。このため、高速に通信することが可能です。

**unnumbered
(unnumbered)**

他のネットワークに接続するルータのWAN側ポートにIPアドレスを割り当てず、2台のルータを見かけ上1台のルータのように扱う接続方式です。unnumberedで運用されているルータはLAN側のみIPアドレスを持ちます。unnumbered接続を行う場合、2台のルータが繋がっているネットワークに他のコンピュータがいるとパケットの行き先が確定しなくなるため、ルータ同士が直結している必要があります。

**UPnP
(Universal
Plug and Play)**

特別な設定なしに機器をLANに接続し通信することができます。アプリケーションがアドレス変換を考慮して送受信パケットを作成するためNAPT機能などを実装していても通信が可能です。

**URL
(Uniform
Resource
Locator)**

インターネット上の情報資源(文書や画像など)の場所を指し示す記述方式です。インターネット上に存在する情報のアドレスと、アクセス方法を特定します。

**VDSLモデム
(Very high-bit-
rate Digital
Subscriber
Line)**

コンピュータをVDSL回線に接続するときに必要になる信号変換機を表します。具体的には、加入電話回線を通じて送られてくるVDSL信号をEthernetの信号に変換したり、その逆を行い、VDSLモデムとコンピュータの間はEthernetLANで繋がります。

**VPN
(Virtual Private Network)**

企業などでプライベートネットワーク専用の回線を設置する場合、工事や維持管理に膨大な費用を投入しなければなりません。情報を暗号化して電話回線やインターネット上で通信するシステムを構築すれば、費用を安く抑えることができます。VPNはこれを実現するためのネットワークシステムです。

VPNクライアント

VPNに接続している端末を指します。

**WAN
(Wide Area Network)**

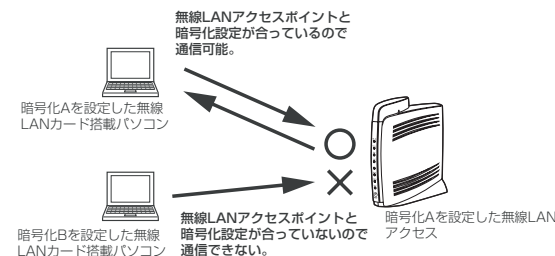
広域のネットワークを意味します。LANと対比して利用されることがあり、伝送距離に制限がないことが特徴です。

**Webブラウザ
(Web Browser)**

Webページ（WWWシステムを使ってインターネット上で公開されている文書）を閲覧（ブラウズ）するためのソフトウェアです。代表的なものとしてInternet Explorerがあります。

**WEP
(Wired Equivalent Privacy)**

無線LAN規格（IEEE802.11）にて規格されている暗号化方式の一つです。直訳は「有線LANと同等のプライバシー機能」となり、無線LANに対するセキュリティの有効な手段とされています。WEPを設定することで、無線電波が第三者に傍受されても、暗号を解読しないとデータの中身を判読することができなくなり、また無線LANに侵入することもできません。WEP機能は、パソコン等および無線LANアクセスポイント側の両方に共通の「WEPキー（WEP暗号化キー）」を設定する必要があります。40bitのキーでは約1兆通りの暗号化が可能のため、暗号化キーを知らないパソコンは通信に参加できません。



WEPキー

WEPで使用する暗号化キーです。市販の無線LAN製品は64ビット、128ビットおよび152ビット長のWEPキーをサポートしています。各ビット長のうち、ユーザが設定できるWEPキー長は、それぞれ「40bit (5byte)」、「104bit (13byte)」、「128bit (16byte)」となります。残り24ビットはIV (Initialization Vector) といわれる自動的にパソコンや無線LANアクセスポイントにより付加されるデータとなります。このキーを元に受信データを暗号化します。設定されるWEPキーの長さが長いほど、暗号は強力なものとなります。

**WPA
(Wi-Fi
Protected
Access)**

無線LANの業界団体であるWi-Fi Allianceが発表した無線LANの暗号化方式の規格です。従来の無線LANのもつ問題点としてあげられていた「ユーザ認証機構が存在しないこと」、「暗号化キー（WEPキー）が基本的に固定になっていること」などの弱点を補強すべく、これらのプロトコルの標準的な実装を定めています。

具体的には、従来のSSIDとWEPキーに加えて、ユーザ認証機能を備え、暗号化キーを一定時間ごとに自動的に更新する機能についてTKIP（Temporal Key Integrity Protocol）と呼ばれる暗号化方式を採用することにより、セキュリティ強度の向上などの改善が加えられています。WPAのユーザ認証機能で認証サーバを使用しない方式を「WPA-PSK」と呼びます。

**WPA-PSK
(Wi-Fi
Protected
Access Pre-
Shared key)**

WPAにおける認証方式の1つであり、認証サーバを使用しない方式を指します。事前共有キー（Pre-Shared Key）と呼ぶ共有キーを使用して認証を行います。AESやTKIPなどの暗号化方式で使います。共有キー自体を指す場合もあります。

WPA-PSK情報

WPA-PSKの設定情報です。

【五十音順】**【あ行】****アドホック・
モード
(ad hoc Mode)**

アクセスポイントを介さずに、無線LANカードを装着したパソコン同士が直接無線LAN上で通信を行う形態を指します。

**イーサネット
(Ethernet)**

現在、最も普及しているLANです。10BASE-Tや100BASE-TXなどの規格があります。

**インフラストラ
クチャ通信
(Infrastructure
Communication)**

無線LANアクセスポイントを介して、無線LAN上で通信する形態を指します。

【か行】**回線終端装置
(Digital
Service Unit)**

デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置です。BフレッツではONU（Optical Network Unit）などを指します。

**簡易DMZ
(Simplicity
De-Militarized
Zone)**

グローバル側へのアクセスを特定の端末へすべて転送します。NAPTを使用すると通信が行えないネットワークゲームなどに使用するとき用います。バーチャルコンピュータ（Virtual Computer）とも称します。

**ゲートウェイ
(Gateway)**

プロトコルの異なるLAN同士やLANとWANとを接続する装置です。

【さ行】**サブネットマス
ク
(Subnet Mask)**

コンピュータ同士が同じネットワーク部であるかを判断するための値です。例えば、255.255.255.0のようにピリオドを挟んだ4つの数字（0～255）で表します。

事前共有キー

共有キー認証の「認証キー」、および暗号化機能の「暗号化キーまたはPSK」の両方に用いられるキーのことです。

自動設定

本商品は電源を入れたときにフレッツ網に設置されている自動設定サーバから本商品の初期設定情報を取得し、初期設定することができます。

自動設定サーバ

本商品の初期設定情報を管理するフレッツ網に設置されたサーバです。

16進

0から15までの16個の数字を、10個の数字と6個のアルファベットを用いて表した、数値の表現方法です。
16進数の「12AB」は、10進数では $1 \times 4096 + 2 \times 256 + 10 \times 16 + 11 \times 1$ の4779に対応します。

ステルスモード
(Stealth Mode)

WAN側からの不正アクセスを防止します。
本商品はTCPパケット/UDPパケット/ICMPパケットのそれぞれのアクセスを防止する/しないを選択することができます。

スループット
(Throughput)

コンピュータが処理を行う速度を意味します。CPU、メモリ、ハードウェア等がそれぞれ影響した結果、すべての要素を通して、最終的に処理がどれほどの速度で行われるかを指します。

セッション
(Session)

ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態を意味します。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態になります。

【た行】

チャンネル

無線LAN通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。
複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合があります。その場合、なるべく各チャンネル同士の帯域が重ならないような使用を推奨します。

ドメイン
(Domain)

「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位を表します。

【な行】

ネットワークアドレス
(Network Address)

IPアドレスの中のネットワークを識別する部分です。例えばサブネットマスクが255.255.255.0の場合は、IPアドレスの3つ目のピリオドまでの数字がネットワークアドレスになります。

【は行】

パケット

一定のサイズに分割されたデータの先頭に、データの属性や宛先などを付けたものです。

パケット通信

パケット化されたデータを送受信する通信のことです。携帯電話やISDN等で利用されています。

パススルー

信号を何の処理もしないで通過させることです。

パスワード
(Password)

コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号です。パスワードを設定するときは、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせ設定することや、定期的にパスワードを変更することが望まれます。

ひかり電話

NTT東日本/西日本提供のIP電話サービスです。

マニュアルの
見かた1 こんなときには
この設定にする2 本商品の
設定画面

3 付録

ファームウェア 本商品に内蔵されていて、本商品の動作を制御するソフトウェアのことを指します。ファームウェアは機能の追加や不具合の修正のために後から変更できるようになっており、バージョンアップを行うことで、購入後でも最新機能をご利用いただくことができます。

ファイアウォール (Fire Wall) 外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステムです。LANとインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現しています。

プライベートIP アドレス 外部のネットワークに直接接続することのない端末に対し、企業や組織内で自由に設定できるIPアドレスです。インターネット通信は、ProxyサーバやNAT機構などを使って実現しています。

フレッツ・コネク フレッツ・コネクはBフレッツ、フレッツ・ADSLをご利用のお客様同士による、IP電話などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスです。NTT東日本エリア全域のご利用者に提供をしています。

フレッツ・コミュニケーション フレッツ・コミュニケーションはBフレッツ、フレッツ・ADSLをご利用のお客様同士による、IP電話などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスです。NTT西日本エリア全域のご利用者に提供をしています。

フレッツ・スクウェア フレッツ・スクウェアは、フレッツ・ADSL、Bフレッツおよびフレッツ・ISDNご利用のお客様専用のサイトです。

プロキシサーバ (Proxy Server) 各装置からSIPプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバです。

プロトコル (Protocol) データ通信を行うために必要な取り決めを意味します。TCPやUDP、IPなどがあります。

プロバイダ (Internet Services Provider) インターネットの接続サービスを提供している事業者を表します。

ポート転送 (Port Forwarding) WAN側のポート番号、プロトコル種別とLAN側に接続された機器のIPアドレス、ポート番号を静的に対応付ける機能です。これにより、LAN側に位置するWebサーバをWAN側に開示するといったサーバホスティングが可能になります。

ポート番号 (Port Number) TCP/IPにおいて、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号です。

ホスト名 (Host Name) ネットワークを利用している機器に付加される名前です。DNSサーバによりIPアドレスと対応付けられています。

【ま行】

マルチセッション (Multisession) ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態を意味します。

無線LANアクセスポイント インフラストラクチャ通信での通信の中継点となるポイントです。有線LAN接続のパソコンでは、無線LANアクセスポイントと通信することで無線LAN接続のパソコンと通信します。

【ら行】

ルータ (Router) LAN同士やLANとWANを接続するための中継装置です。

ルーティング (Routing) パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能です。

ルーティングテーブル (Routing Table) ルーティングのときに参照するデータです。このデータにもとづいてルーティングを実行します。

レジスタサーバ (REGISTER Server) 各装置からの登録情報を受け付け、データベースに登録されている装置情報を更新するサーバです。

マニュアルの
見かた

1 こんなときには
この設定にする

2 本商品の
設定画面

3 付録